

第 5 回学術フォーラムの結果概要について

開催日時・場所
平成 28 年（2016 年）8 月 1 日（月） 15 時 00 分～17 時 00 分 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 会議室
出席委員
井手委員、田中賢治委員、津野委員、西野委員、堀越委員、脇田委員 (欠席：佐野委員、清水委員、田中克委員、平山委員)
主な内容
・マザーレイク 21 計画の指標を整理し、琵琶湖の状態を把握するための資料「琵琶湖と暮らし 2016（案）」について、内容の妥当性と効果的な編集に向けた意見を委員からいただいた。
主な意見
<p>(内容の妥当性について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「琵琶湖と暮らし」はよくまとまっていて分かり易いと思う。鳥の目で琵琶湖がどうなっているのかを見ている。 ・アリの目みたいに地域でどうなっているのか、別の視点が必要。それぞれの地域の自然がどうなっているかという視点も必要。これをやるには別冊にしていく必要がある。 ・どうしたらいいかの情報が加わりバージョンアップされると、びわコミ会議の中でもより有効に参加者たちに刺激を与えるような情報になる。 ・この冊子は、あんまり分厚くなっても読まれなくなるし、一覧表を入れると堅苦しくなってしまう ・コラム的に直近のところについても触れる部分が欲しい。 <p>(個別指標について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した水位操作がされていると認識しているが、その操作を行っている期日は限られていたり、水位のデータはそのままでは分かりにくい。 ・10cm 以上で産卵するとされているが、その日数は少なくなっており、同時に 70cm 以下になる日数は短くなる傾向。これが水位操作の影響か、降水量の変化なのかきちんと評価できていない部分もあると思うので、この辺を評価できないか。 ・物質収支は、やっぱり難しい。 ・例えばリンが北湖にどれくらいあって、それが滋賀県で使った肥料の何倍に相当します、とかの解説を入れると、なんとなくわかる部分もあると思う。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、県民の方の生活や活動において、琵琶湖とつながるきっかけとなる資料となるよう、記載内容や表現方法等を工夫していく。(平成 28 年 8 月 20 日開催のびわコミ会議において配付。)

マザーレイク 21 計画学術フォーラム委員名簿

委員名	主な職
井手 慎司	滋賀県立大学環境科学部教授
佐野 静代	同志社大学文学部教授
清水 芳久	京都大学大学院工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター教授
田中 賢治	京都大学防災研究所附属 水資源環境研究センター准教授
田中 克	京都大学名誉教授
津野 洋	大阪産業大学人間環境学部特任教授
西野 麻知子	びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部教授
平山 貴美子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科講師
堀越 昌子	京都華頂大学現代家政学部教授
脇田 健一	龍谷大学社会学部教授

五十音順（敬称略）

マザーレイク 21 計画各種指標の平成 27 年度末の状況
(目標値と平成27年度末のアウトカム指標、アウトプット指標の関係)

資料1-1

1. 琵琶湖流域生態系の保全・再生

(1) 湖内

【2020年度の目標】良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様で豊かな在来生物群集の再生

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ	
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)					
琵琶湖の透明度 (北湖中央部9地点平均値)	m	7.2(H22)	6.2	6.6	6.9	6.9	6.6		7.2(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	○	
琵琶湖の水質(環境基準項目のほか難分解性有機物に関する項目、底層のDOなどを含む)									環境基準項目についてはその達成に近づく、それ以外の項目については高度経済成長期前の値に近づく	第6期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画	○	
	* (COD) 北湖75%値	mg/L	2.9(H22)	2.8	2.8	2.6	2.9	2.8	☆	2.9(H27)		
	* (COD) 南湖75%値	mg/L	5.0(H22)	4.5	5.3	4.4	4.3	4.6	☆	5.0(H27)		
	* (T-N) 北湖平均値	mg/L	0.25(H22)	0.28	0.28	0.27	0.25	0.25		0.24(H27)		*環境基準未達成項目
	* (T-N) 南湖平均値	mg/L	0.28(H22)	0.28	0.30	0.27	0.25	0.24	☆	0.26(H27)		
	(T-P) 北湖平均値	mg/L	0.008(H22)	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008	☆	—		
(T-P) 南湖平均値	mg/L	0.016(H22)	0.013	0.014	0.014	0.012	0.012	☆	0.016(H27)			
アオコの発生日数、水域数	日	16(H22)	5	18	21	0	5	☆	0(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	○	
	水域	3(H22)	3	7	3	0	4	☆	0(H25)			
淡水赤潮の発生日数、水域数	日	0(H22)	0	0	0	0	0	☆	0(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	○	
	水域	0(H22)	0	0	0	0	0	☆	0(H25)			
珪藻網が優占する比率	%	33.3(H22)	8.3	20.8	54.2	58.3	41.7			琵琶湖環境科学研究所センターの定期調査	○	
琵琶湖の底質調査(強熱減量)	% 北湖	9.2(H27)	8.8	11.4	12.7	11.7	12.7			琵琶湖環境科学研究所センターの定期調査	○	
	% 南湖	9.4(H27)	10.4	10.4	10.9	11.0	11.0					
琵琶湖漁業の漁獲量(外来魚を除く)	トン	1,368(H20)	1,301(H22)	976(H23)	959(H24)	871(H25)	880(H26)		2,200(H27) 1,600(H32)	七がの農業・水産業新戦略ビジョン・滋賀県農業・水産業基本計画	○	
ニゴロブナの漁獲量	トン	39(H20)	23(H22)	45(H23)	48(H24)	39(H25)	51(H26)		75(H27)	七がの農業・水産業新戦略ビジョン・滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○	
セタシジミの漁獲量	トン	66(H20)	41(H22)	22(H23)	28(H24)	64(H25)	43(H26)		130(H27)	七がの農業・水産業新戦略ビジョン・滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○	
ホンモロコの漁獲量	トン	10(H20)	10(H22)	14(H23)	14(H24)	16(H25)	14(H26)		60(H27)	七がの農業・水産業新戦略ビジョン・滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○	
アユの漁獲量	トン	555(H21)	683(H22)	553(H23)	525(H24)	409(H25)	408(H26)		—	滋賀の未来 滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○	
ビワマスの漁獲量	トン	28(H21)	31(H22)	52(H23)	23(H24)	17(H25)	14(H26)		—	滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○	
ニゴロブナ当歳魚資源尾数	尾	-	730万	520万	310万	推計中	推計中				○	
セタシジミの主要漁場における生息密度の推移	個体/㎡	-	1.92	1.64	0.69	0.89	推計中				○	
外来魚生息量(4/1調査)	トン	1,421(H21)	1,160	1,119	916	推計中	推計中		900(H27) 600(H32)	七がの農業・水産業新戦略ビジョン・滋賀県農業・水産業基本計画	○	
希少野生脊椎動物種・貝類	種	268(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	268		種数を実績値以上にしない	滋賀県で大切にすべき野生生物	○	
	絶滅危惧種	種	34(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	35				
	絶滅危機増大種	種	27(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	29				
	希少種	種	141(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	137				

各年度の測定値は比較的経年変動が大きく、6.1 m(平成16年度)、6.8 m(平成17年度)、7.7 m(平成18年度)、7.5 m(平成19年度)、6.8 m(平成20年度)、6.9 m(平成21年度)、7.2 m(平成22年度)と推移しています。

目標達成：☆、新規達成：★

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度 末)	(H24年度 末)	(H25年度 末)	(H26年度 末)	(H27年度 末)				
下水道を利用できる県民の割合	%	85.8(H22)	86.4	87.3	87.9	88.3	集計中		91.8(H32)	滋賀県汚水処理施設整備構想2010	○
汚水処理施設整備率	%	97.8(H22)	98.2	98.4	98.2	98.3	集計中		100(H32)	滋賀県汚水処理施設整備構想2010	
水稲における環境こだわり農産物栽培面積の割合	%	33(H21)	37	38	39	41	43		50(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
流域単位での農業排水対策の取組面積	ha	14,978(H21)	15,531	15,981	16,145	16,159	17,079	★	16,800(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
ニゴロブナの種苗放流尾数	尾	1,154万 (全長20mm) 133万 (全長120mm) (H21)	1,366万	1,322万	1,204万	1,218万	978万	☆	1,200万 (全長20mm) 120万 (全長120mm) (H26)-(H33)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	
ホンモロコの種苗放流尾数	尾	1.1億 (全長5mm) 100万 (全長20mm) (H21)	1.28億	0	0	947万	976万	☆	1億 (全長5mm) 800万1200万 (全長20mm) (H26)-(H33)	※5mmでの放流を止め、より効果のある20mmに切り替えた 水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	
セタシジミの種苗放流個数	個	11億 (殻長0.2mm) (H21)	11.4億 (殻長0.2mm)	8.0億 (殻長0.2mm)	946万 (殻長0.3~0.4mm)	1,180万 (殻長0.3~0.4mm)	1,190万 (殻長0.3~0.4mm)		20億1200万 (殻長0.2mm)(H26) (殻長0.3mm)(H33)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	

(イトミミズの食害を防ぐため大型種苗の放流に転換：H25の946万は殻長0.2mm7.9億に相当)

(2) 湖辺域

**【2020年度の目標】 絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の減少、
在来魚介類の再生産の回復と漁獲量の増加、湖岸景観の回復**

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度 末)	(H24年度 末)	(H25年度 末)	(H26年度 末)	(H27年度 末)				
琵琶湖のヨシの面積	ha	169.3(H19)	178.4	179.8	179.9	182.6	183.3		昭和30年代の湖辺のヨシ群落の形状	ヨシ群落保全基本計画	○
琵琶湖の水浴場の「快適AA」ランクの箇所数	箇所	3(H22)	5	4	4	2	6		9(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	○
琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く)(再掲)	トン	1,368(H20)	1,301(H22)	976(H23)	959(H24)	871(H25)	880(H26)		2,200(H27) 1,600(H32)	しがの農業・水産業新戦略プラン 滋賀県農業・水産業基本計画	○
ニゴロブナの漁獲量(再掲)	トン	39(H20)	23(H22)	45(H23)	48(H24)	39(H25)	51(H26)		75(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン 滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○
セタシジミの漁獲量(再掲)	トン	66(H20)	41(H22)	22(H23)	28(H24)	64(H25)	43(H26)		130(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン 滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○
ホンモロコの漁獲量(再掲)	トン	10(H20)	10(H22)	14(H23)	14(H24)	16(H25)	14(H26)		60(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン 滋賀県農林水産統計年報(農林水産省)	○
アユの漁獲量(再掲)	トン	555(H21)	683(H22)	553(H23)	525(H24)	409(H25)	408(H26)		—	滋賀の水産滋賀農林水産統計年報(農林水産省)	○
ビワマスの漁獲量(再掲)	トン	28(H21)	31(H22)	52(H23)	23(H24)	17(H25)	14(H26)		—	滋賀農林水産統計年報(農林水産省)	○
ニゴロブナ当歳魚資源尾数(再掲)	尾	-	730万	520万	310万	推計中	推計中				○
セタシジミの主要漁場における生息密度の推移(再掲)	個体/nf	-	1.92	1.64	0.69	0.89	推計中				○
プレジャーボートによる騒音被害に関する苦情件数	件	8(H22)	4	3	4	5	4	☆	5(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
外来魚生息量(再掲) (4/1調査)	トン	1,421(H21)	1,160	1,119	916	推計中	推計中		900(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
カイツブリの推定生息数	羽	741 (H20~H22平均)	583	819	592	517	584		800(H25)	滋賀県ガンカモ類等生息調査	○
カワウの推定生息数	羽	23,170 (H22春)	14,211 (H23春)	11,011 (H24春)	9,432 (H25春)	8,429 (H26春)	7,659 (H27春)		4,000程度	特定鳥獣保護管理計画(長期目標) ※H27から「第2種特定鳥獣管理計画」	○
希少野生脊椎動物種・貝類(再掲)	種	268(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	268		種数を実績値以上にしない	滋賀県で大切にすべき野生生物	○
絶滅危惧種	種	34(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	35				
絶滅危機増大種	種	27(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	29				
希少種	種	141(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	137				
希少野生動物種の「生息・生育地保護区」の箇所数	箇所	7(H22)	8	9	10	10	10	☆	10(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
水草群落面積	km ²	41-44 (H15~H19)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	66-59 (H20~H25)	(5年毎調査)	(5年毎調査)		20-30 (1930~50年代)	水草繁茂に係る要因分析等検討会のまとめ	○

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当年度)	(H23年度 末)	(H24年度 末)	(H25年度 末)	(H26年度 末)	(H27年度 末)				
水草表層刈り取り量	t	1,903(H22)	1,547	1,536	1,200	1,143	2,224		—	琵琶湖環境部組織 目標	○
水草根こそぎ除去面積	ha	160(H22)	1,060	1,156	2,114	1,782	1,120	☆	660(H26)	琵琶湖環境部組織 目標	
砂地造成累積面積	ha	13.5(H21)	24.8	35.8	45.8	51.0	54.0	★	53(H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	
ヨシの植栽面積(累計)	ha	34.6(H21)	38.4	39.8	39.9	42.7	43.3		56.8(H32)	ヨシ群落保全基本 計画	○
砂浜保全対策(累計)	箇所	8(H21)	10	10	10	10	11	★	11(H32)		
外来魚の駆除量・回収量	トン	18.2(H21)	15.3	18.9	14.2	13.3	14.4		20(H26)	回収ボックス・い けすの回収量	○
		374(H21)	312	350	174	179	158		315/年	外来魚駆除量(水 産課)	
ニゴロブナの種苗放流尾数(再 掲)	尾	1,154万 (全長20mm)	1,366万	1,322万	1,204万	1,218万	978万	☆	1,200万 (全長20mm)	水産動物の種苗の 生産および放流なら びに水産動物の育 成に関する基本計 画	
		133万 (全長120mm) (H21)	127万	134万	140万	124万	79万	☆	120万 (全長120mm) (H26)-(H33)		
ホンモロコの種苗放流尾数(再 掲)	尾	1.1億 (全長5mm)	1.28億	0	0				1億 (全長5mm)	(※8mmでの放流を 止め、より効果のある 20mmに切り替え た)	
		100万 (全長20mm) (H21)	128万	1,059万	1,029万	947万	976万	☆	800万1200万 (全長20mm) (H26)-(H33)	水産動物の種苗の生 産および放流なら びに水産動物の育 成に関する基本計 画	
セタシジミの種苗放流個数(再 掲)	個	11億 (殻長0.2mm) (H21)	11.4億 (殻長 0.2mm)	8.0億 (殻長 0.2mm)	946万 (殻長0.3~ 0.4mm)	1,180万 (殻長0.3~ 0.4mm)	1,190万 (殻長0.3~ 0.4mm)		20億1200万 (殻長0.2mm)(H26)	水産動物の種苗の生 産および放流なら びに水産動物の育 成に関する基本計 画	
									20億1200万 (殻長0.3mm)(H33)		

(3) 集水域

【2020年度の目標】適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と在来生物の回復

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ	
		(当年度)	(H23年度 末)	(H24年度 末)	(H25年度 末)	(H26年度 末)	(H27年度 末)					
県内主要河川の水質目標の達成率	%	96(H22)	83	92	88	75	88		100(H25)	第三次滋賀県環境 総合計画	○	
県内河川の水質(BOD)	mg/l	南湖瀬田川流入河川	5.0(S53)	1.10	1.07	0.96	1.19	1.00				
		北湖東部流入河川	1.7(S53)	1.00	0.78	0.81	0.93	0.90			滋賀の環境	○
		北湖西部流入河川	0.8(S53)	0.79	0.72	0.65	0.86	0.80				
県内河川の水質(T-N)	mg/l	南湖瀬田川流入河川	2.80(S53)	0.97	0.89	0.84	0.84	0.87				
		北湖東部流入河川	1.17(S53)	0.80	0.81	0.79	0.80	0.69			滋賀の環境	○
		北湖西部流入河川	0.54(S53)	0.59	0.56	0.52	0.51	0.48				
県内河川の水質(T-P)	μg/l	南湖瀬田川流入河川	455(S53)	50	42	43	44	38				
		北湖東部流入河川	63(S53)	50	46	49	42	43			滋賀の環境	○
		北湖西部流入河川	31(S53)	27	21	26	21	19				
流入汚濁負荷推定量	t/日	34.0(COD) 14.0(T-N) 0.65(T-P) (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	推計中		33.6(COD) 13.6(T-N) 0.62(T-P) (H27)	第6期琵琶湖に係 る湖沼水質保全計 画(策定時算出 値)	○	
除間伐を必要とする人工林に対する 整備割合	%	65(H20)	90	69	73	62	60 (速報値)		80(H26) 90(H32)	琵琶湖森林づくり 基本計画	○	
森林づくり活動を実践している市 民団体等の数(累計)	団体	99(H20)	120	127	139	163	—	☆	125(H26) 150(H32)	琵琶湖森林づくり 基本計画改定による 指標の見直し		
森林づくり活動をPRする森づく り団体数(累計)	団体					68	76	★	160(H32)	琵琶湖森林づくり 基本計画改定による 指標の見直し		
地域の森林づくりを推進する集落 数(累計)	集落	56(H20)	62	80	82	89	77	☆	87(H26) 100(H32)	琵琶湖森林づくり 基本計画	○	
耕作放棄地面積	ha	2,073(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	2,276(H27)		—	世界農林業センサ ス調査結果	○	
ニホンジカの推定生息頭数	頭	47,000- 67,000(H22)	—	—	—	—	—		8,000	特定鳥獣保護管理計 画(長期目標) ※H27から「第2種特定 鳥獣管理計画」		
カワウの推定生息数(再掲)	羽	23,170 (H22春)	14,211 (H23春)	11,011 (H24春)	9,432 (H25春)	8,429 (H26春)	7,659 (H27春)		4,000程度	特定鳥獣保護管理計 画(長期目標) ※H27から「第2種特定 鳥獣管理計画」	○	
希少野生脊椎動物種・貝類(再 掲)	種	268(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	268			種数を実績値 以上にしない	滋賀県で大切にす べき野生生物	
		絶滅危惧種	34(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	35				
		絶滅危惧増大種	27(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	29				
		希少種	141(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	137				
化学合成農薬の使用量(H12比)		33%削減 (H21)	41%削減	42%削減	43%削減	41%削減	41%削減	☆	40%削減 (H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○	
ホタル飛翔地域数(守山市赤野井溝)	地区	23(H22)	28	29	25	27	30		—	びわこ豊稔の郷の 資料より	○	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
里山整備協定林の数(累計)	箇所	9(H20)	12	13	14	14	—		25(H26) 40(H32)	琵琶湖森林づくり基本計画改定による指標の見直し	
協定を締結して整備する里山の箇所数(累計)	箇所			新規		137	169		300(H32)	琵琶湖森林づくり基本計画改定による指標の見直し	
間伐実施面積	ha	3,014(H22)	2,513	1,887	2,042	1,724	1866(速報値)		3,100(H26)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
利用間伐実施面積	ha	27(H17)	448	641	541	538	739(速報値)		—		○
水稲における環境こだわり農産物栽培面積の割合(再掲)	%	33(H21)	37	38	39	41	43		50(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
「魚のゆりかご水田」など豊かな生き物を育む水田取組面積	ha	111(H21)	123	171	200	221	255	★	250(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○

《つながりへの配慮》

【2020年度の目標】湖内・湖辺域・集水域を行き来する在来生物の増加

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
アユの漁獲量(再掲)	トン	555(H21)	683(H22)	553(H23)	525(H24)	409(H25)	408(H26)		—	滋賀の水産滋賀農林水産統計年報(農林水産省)	
ビワマスの漁獲量(再掲)	トン	28(H21)	31(H22)	52(H23)	23(H24)	17(H25)	14(H26)		—	滋賀農林水産統計年報(農林水産省)	○
ニゴロブナの漁獲量(再掲)	トン	39(H20)	23(H22)	45(H23)	48(H24)	39(H25)	51(H26)		75(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン(滋賀農林水産統計年報(農林水産省))	○
ニゴロブナ当歳魚資源尾数(再掲)	尾	—	730万	520万	310万	推計中	推計中		—		○
セタンジミの主要漁場における生息密度の推移(再掲)	個体/㎡	—	1.92	1.64	0.69	0.89	推計中		—		○

※ つながりへの配慮のアウトカム指標としては、例えば「生態廊下として機能する河川の数」などが挙げられますが、現時点でそれらの明確な定義はありません。

なお、滋賀県ピオトープネットワーク長期構想では、ピオトープのネットワーク化による移動の効果を示す指標種として、シジウカラなどのカラ類・グイス(自然林・二次林域、田園域との間のネットワーク)、ニゴロブナ・ナマズ(琵琶湖水域と湖岸域・内湖、田園域とのネットワーク)、アユ・ビワマス(琵琶湖水域と河川との間のネットワーク)などが挙げられています。

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
「魚のゆりかご水田」など豊かな生き物を育む水田取組面積(再掲)	ha	111(H21)	123	171	200	221	255	★	250(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○

2. 暮らしと湖の関わりの再生

(1) 個人・家庭

【2020年度の目標】身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく人の増加

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
県内卸売市場の県産野菜入荷率	%	24.9(H21)	23.1	23.2	25.6	26.1	26.5(H25)		30.0(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
月1回以上湖魚料理を作り、食べる人の割合	%	—	—	17	—	—	24		70(H32)	県政モニターアンケート(H24.8, H27.6調査)	
県民1人が1日に出すごみの量【旧定義】	g	—	887	892	895	866	—	☆	910(H27)	第三次滋賀県廃棄物処理計画	○
県民1人が1日に出すごみの量【新定義】	g	—	—	876	880	851	—	☆	910(H27)	第三次滋賀県廃棄物処理計画 住民基本台帳法が平成24年度に改正され、人口の定義が変更。 総人口に外国人人口を含むこととなった。	○
家庭排水に気を付ける家庭の割合	%	—	—	59	—	—	65		100(H32)	県政モニターアンケート(H24.8, H27.6調査)	
過去1年間に環境保全活動や環境学習に参加した人の割合	%	—	—	37	—	—	42		70(H32)	県政モニターアンケート(H24.8, H27.6調査)	
過去1年間に琵琶湖や川で遊んだ人の割合	%	—	—	45	—	—	35		70(H32)	県政モニターアンケート(H24.8, H27.6調査)	
環境こだわり農産物を継続して利用する消費者の割合	%	28(H21)	29	—	27	32	—未実施		36(H27)	環境こだわり農業推進基本計画	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
「みるエコおうみ」プログラム取組世帯数	世帯	2,190 (H22)	2,401	2,463	2,483	2,487	-	50,000 (H27)	・第三次滋賀県環境総合計画 ・サイト運営は平成26年度末に終了したので、平成27年度は集計値なし。ダウンロード版はHPに掲載。		
びわ湖まちかどむらかど環境塾開催地区数	地区	-	4	2	2	3	4	10/年			

(2) 生業 (なりわい)

【2020年度の目標】 琵琶湖流域保全と調和した生業の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全・再生活動の活発化

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
県産材の素材生産量	m ³	32,000 (H20)	67,000	59,000	62,000	56,000	54,000	59,000 (H26) 120,000 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○	
新規就農者数 (H23～H27累計)	人	-	102	208	338	447	556	☆	200 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く) (再掲)	トン	1,368 (H20)	1,301 (H22)	976 (H23)	959 (H24)	871 (H25)	880 (H26)	2,200 (H27) 1,600 (H32)	しがの農業・水産業新戦略プラン-滋賀県農業・水産業基本計画	○	
ニゴロブナの漁獲量 (再掲)	トン	39 (H20)	23 (H22)	45 (H23)	48 (H24)	39 (H25)	51 (H26)	75 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン-滋賀県森林水産統計年報(農林水産省)	○	
セタシジミの漁獲量 (再掲)	トン	66 (H20)	41 (H22)	22 (H23)	28 (H24)	64 (H25)	43 (H26)	130 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン-滋賀県森林水産統計年報(農林水産省)	○	
ホンモロコの漁獲量 (再掲)	トン	10 (H20)	10 (H22)	14 (H23)	14 (H24)	16 (H25)	14 (H26)	60 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン-滋賀県森林水産統計年報(農林水産省)	○	
アユの漁獲量 (再掲)	トン	555 (H21)	683 (H22)	553 (H23)	525 (H24)	409 (H25)	408 (H26)	-	滋賀の水産滋賀県森林水産統計年報(農林水産省)		
ビワマスの漁獲量 (再掲)	トン	28 (H21)	31 (H22)	52 (H23)	23 (H24)	17 (H25)	14 (H26)	-	滋賀県森林水産統計年報(農林水産省)	○	
ホンモロコ資源尾数推定 (再掲)	尾	-	1,200万	860万	310万	推計中	推計中			○	
セタシジミの主要漁場における生息密度の推移 (再掲)	個体/m ²	-	1.92	1.64	0.69	0.89	推計中			○	
漁業就業者数	人	824 (H20)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	687 (H25)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	-	漁業センサス結果報告書	○	
琵琶湖漁業の生産額	億円	52.3 (H3)	11.9 (H21)	(H22以降の統計なし)	(H22以降の統計なし)	(H22以降の統計なし)	(H22以降の統計なし)	-	滋賀県森林水産統計年報(農林水産省)	○	
農業就業人口 (販売農家)	人	44,291 (H17)	29,492 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	24,860 (H27)	-	農林業センサス(農林水産省)	○	
農業産出額	億円	704 (H17)	532 (H22)	589 (H23)	665 (H24)	618 (H25)	554 (H26)	-	生産農業所得統計(農林水産省)	○	
林業就業者数	人	366 (H17)	648 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	-	国勢調査	○	
林業産出額	億円	12.3 (H17)	10.7	10.7	9.1	9.7	集計中	-	生産林業所得統計(農林水産省)	○	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
琵琶湖森林づくりパートナー協定(企業の森)締結数(累計)	件	3 (H20)	14	17	21	23	23	☆	15 (H26) 35 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画改定による目標値の変更	○
「おいしが うれしが」キャンペーン登録店舗数	店	596 (H21)	866	1,033	1,180	1,297	1,401	☆	800 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
水稲における環境こだわり農産物栽培面積の割合 (再掲)	%	33 (H21)	37	38	39	41	43		50 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
「魚のゆりかご水田」など豊かな生き物を育む水田取組面積 (再掲)	ha	111 (H21)	123	171	200	221	255	★	250 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
びわ湖環境ビジネスメッセにおける有効商談件数(累計)	件	40,354 (H22)	44,023	48,625	52,015	56,456	59,108	☆	47,028 (H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
環境こだわり農産物認証マークを表示して出荷する生産組織数	組織	87 (H21)	101	117	116	112	110		120 (H27)	環境こだわり農業推進基本計画	
水田ハローによる浅水代かきの実施率	%	23.4 (H21)	28.5	27.1	30.0	29.2	21.4		30.0 (H27)	環境こだわり農業推進基本計画	
耕地面積	ha	54,646 (H17)	53,386	53,286	53,176	53,046	52,600	-	-	耕地面積調査(農林水産省)	○
利用間伐実施面積 (再掲)	ha	27 (H17)	448	641	541	538	739 (速報値)	-	-		○

(3) 地域

【2020年度の目標】 地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取り組みの活発化

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
「環境の保全を図る活動」を活動分野とするNPO法人の数	団体	205 (H21)	228	257	252	244	250		-		
森林づくり活動を実践している市民団体等の数(累計)(再掲)	団体	99 (H20)	120	127	139	163	-	☆ ★	125 (H26) 150 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画改定による指標の見直し	
森林づくり活動をPRする森づくり団体数(累計)(再掲)	団体			新規		68	76		160 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画改定による指標の見直し	
地域の森林づくりを推進する集落数(累計)(再掲)	集落	56 (H20)	62	80	82	89	77	☆	87 (H26) 100 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
マザーレイクフォーラムへの参加団体数	団体	-	-	85	135	174	198		200 (H26) 210 (H28)		
淡海の川づくりフォーラムへの参加団体数	団体	20 (H22)	16	15	16	15	12	☆	20/年 12/年 (H27)	各団体の「よいところ」をより引き出すため、時期配分等を見直し参加団体を抑えることとした。	
びわ湖まちかどむらかど環境塾開催地区数(再掲)	地区	-	4	2	2	3	4		10/年		

《つながりへの配慮》

【2020年度の目標】 地域を越えた活動のための仕組みづくりと普段の生活の中での湖との関わりの定着

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
学校給食への地場産物利用率(食材数ベース)	%	23.4 (H21)	24.9	25.4	25.6	27.2	29.8	☆	25以上 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プランH28以降の計画なし	
びわ湖フローティングスクール「うみのこ」事業実施学校数	校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	☆	全小学校 特別支援学校等含	滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト	
森林環境学習「やまのこ」事業実施学校数	校	243 (H22)	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	☆	全小学校 特別支援学校等含	滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト	
「たんぼのこ」体験事業実施学校数	校	198 (H21)	204	203	207	207	203		全小学校	滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト	
琵琶湖博物館の年間来館者数	人	388,040 (H21)	371,505	363,053	368,210	358,871	341,599		425,000/年		○
過去1年間に琵琶湖や川で遊んだ人の割合(再掲)	%	-	-	45	-	-	35		70 (H32)	県政モニターアンケート (H24.8, H27.6調査)	
びわこルールキッズの登録者数	人	708 (H22)	853	741	1,094	630	275		1,000/年		○
自分の住む地域の洪水ハザードマップを知っている人の割合	%	-	-	39	-	-	67		100 (H32)	県政モニターアンケート (H24.8, H27.6調査)	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値						目標達成	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当年初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)	(H26年度末)	(H27年度末)				
マザーレイクフォーラムへの参加団体数(再掲)	団体	-	-	85	135	174	198		200 (H26) 210 (H28)		
淡海の川づくりフォーラムへの参加団体数(再掲)	団体	20 (H22)	16	15	16	15	12	☆	20/年 12/年 (H27)	各団体の「よいところ」をより引き出すため、時期配分等を見直し参加団体を抑えることとした。	
びわ湖まちかどむらかど環境塾開催地区数(再掲)	地区	-	4	2	2	3	4		10/年		
環境学習企画サポート件数(累計)	件	1,151 (H22)	1,371	1,620	1,869	2,139	2,348	☆	1,900 (H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
滋賀県学習情報提供システム「におネット」における講座情報数	講座	1,201 (H21)	1,740	1,848	1,859	1,960	2,467	☆	2,100 (H27)	滋賀の生涯学習社会づくり基本構想	
森林環境学習の年間受講者数	人	14,557 (H22)	16,412	17,200	21,200	20,472	-	☆	20,000 (H26)	琵琶湖森林づくり基本計画改定による指標の見直し	○

マザーレイク21計画 各種指標の状況

マザーレイク21計画
学術フォーラム

平成28年8月1日(月)

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

指標による評価

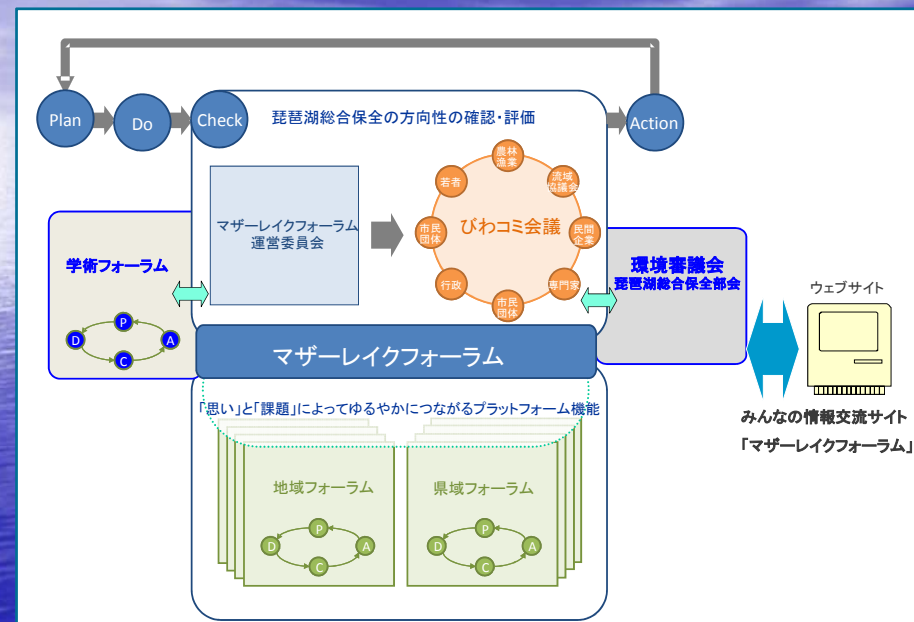
資料1-2

- 琵琶湖の「定期健康診断」
- のべ**128種類**の指標、目標値と最新の数値
- 経年変化を見るため、グラフ化できたものは**62個**
(指標以外の参考データ含む。)
- 最新の数値と過去からの数値の推移を見る
- 個々の数値に一喜一憂せず、全体的な傾向を見る
(近視眼的に見ない)
- 変化の兆しを見る
→ **計画目標に近づいているのか評価する。**

マザーレイク21計画(第2期改定版)の体系



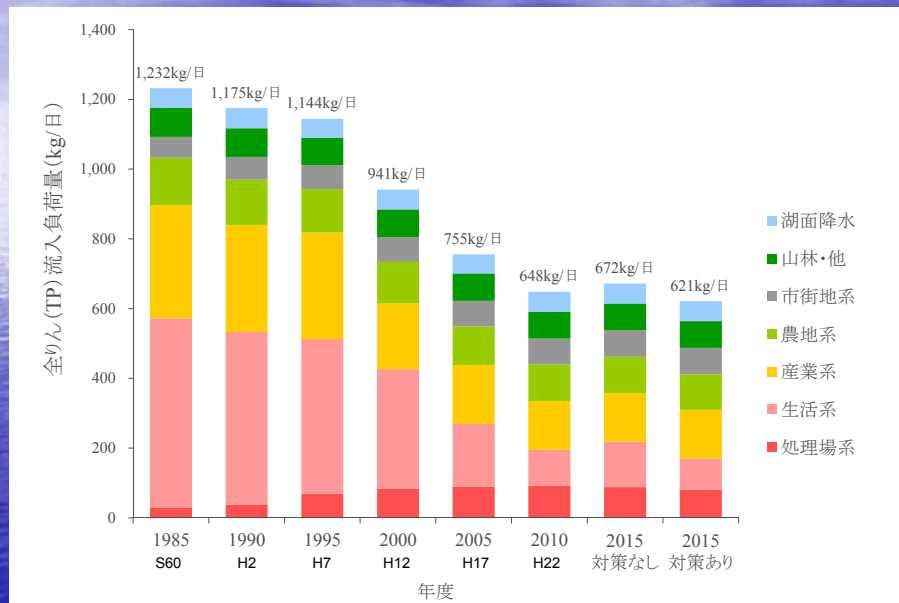
マザーレイク21計画の進行管理



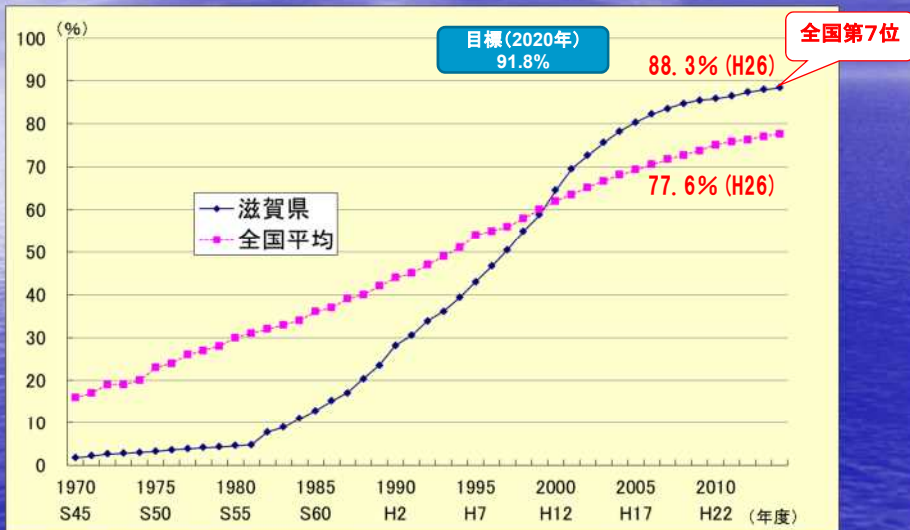
水質

- この30年あまり、県の対策の中心は、「琵琶湖に流入する汚れを減らすこと」だった。
- 下水道の整備や工場排水規制等により水質は向上してきた。
- 水質関係の多くの指標は改善傾向を示している。

流入汚濁負荷推定量(T-P)



下水道普及率



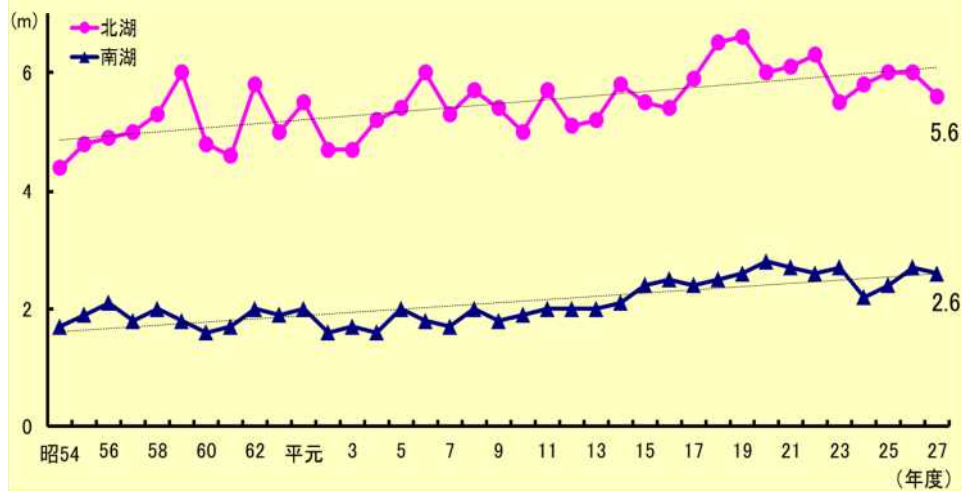
参考データ

追加

最近5年間の水浴場水質判定状況 (開設前)

水浴場名	市町名	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
松の浦	大津市	A	AA	A	A	B
近江舞子	大津市	AA	A	AA	A	B
なぎさ	守山市	B	B	B	B	-
宮ヶ浜	近江八幡市	A	AA	A	AA	AA
新海浜	彦根市	B	B	B	AA	B
松原	彦根市	B	B	B	AA	AA
南浜	長浜市	AA	AA	AA	AA	A
二本松	長浜市	AA	B	A	AA	AA
マキノビーチ	高島市	AA	AA	A	AA	A
判定別水浴場数	AA	4	4	2	6	3
	A	2	1	4	2	2
	B	3	4	3	1	3

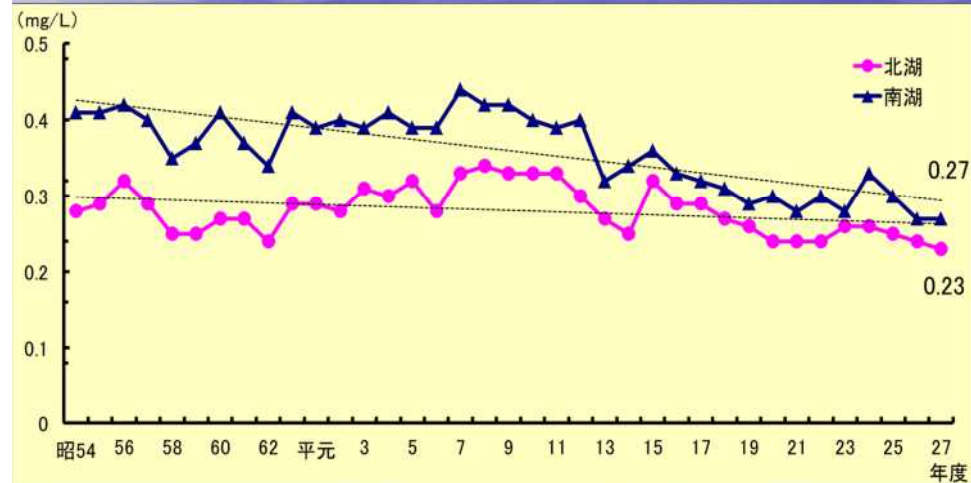
琵琶湖の水質(透明度)



※北湖28、南湖19地点の平均値

琵琶湖の水質(T-N)

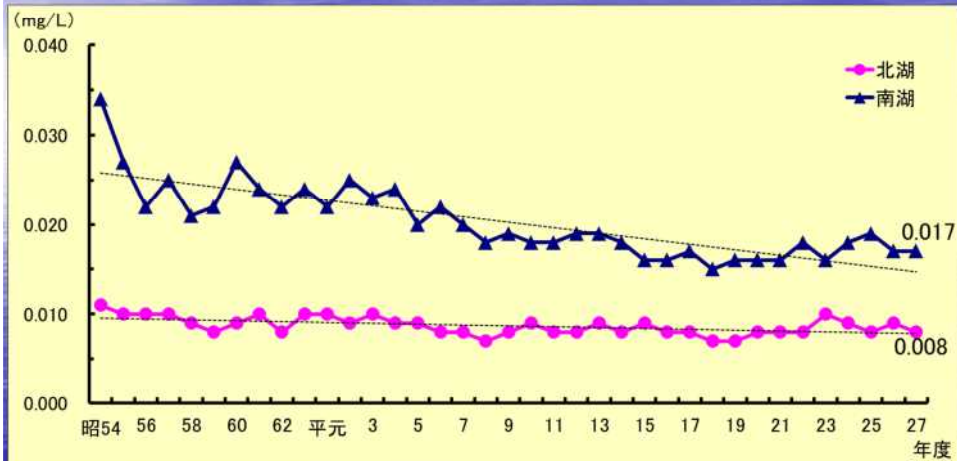
【測定全地点の平均値】



※北湖28、南湖19地点の平均値

琵琶湖の水質(T-P)

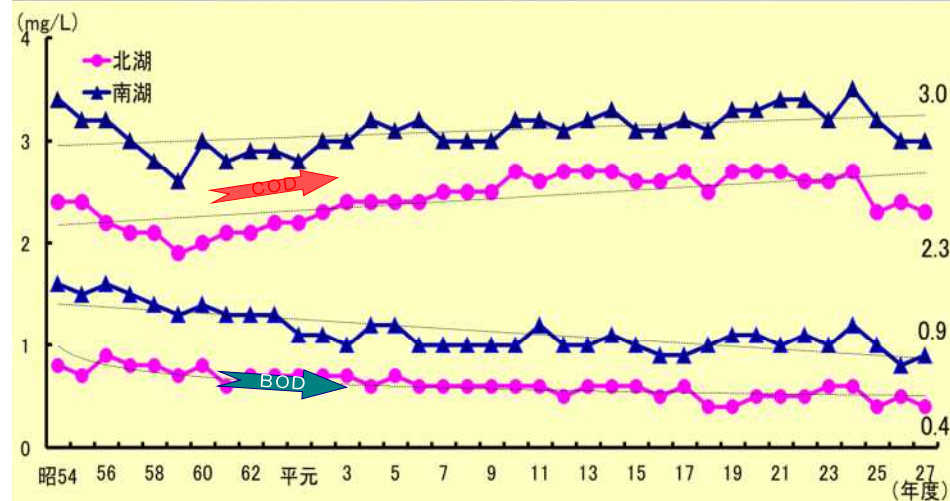
【測定全地点の平均値】



※北湖28、南湖19地点の平均値

琵琶湖の水質(COD、BOD)と汚濁負荷量の推移(COD)

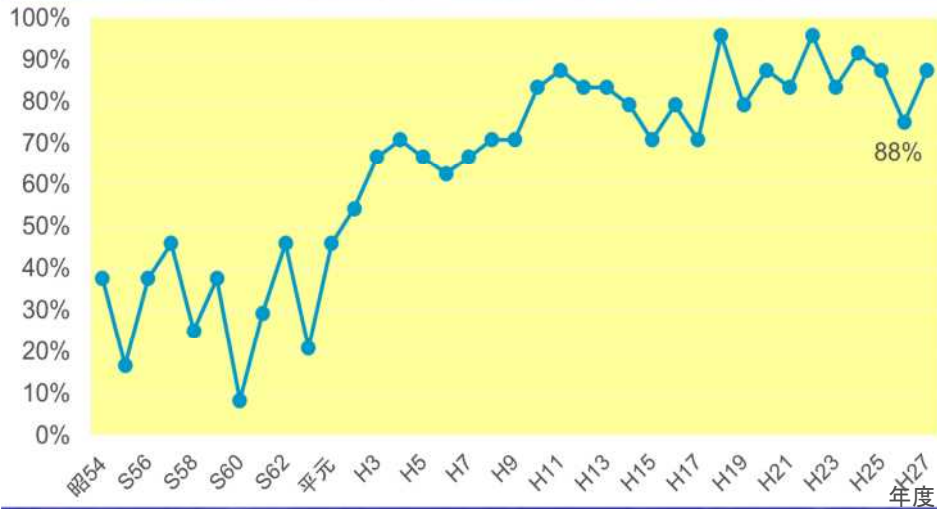
【測定全地点の平均値】



※北湖28、南湖19地点の平均値

追加

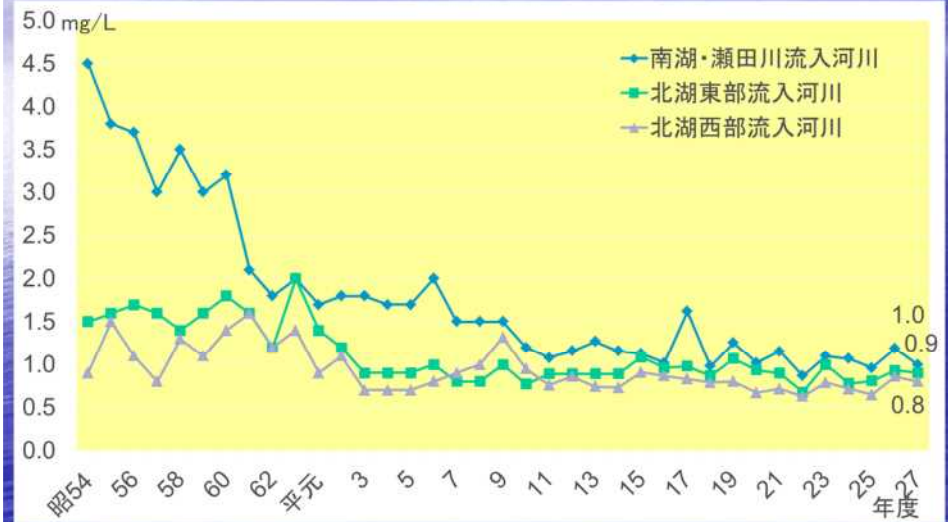
県内主要河川の環境基準(BOD)の達成率



13

追加

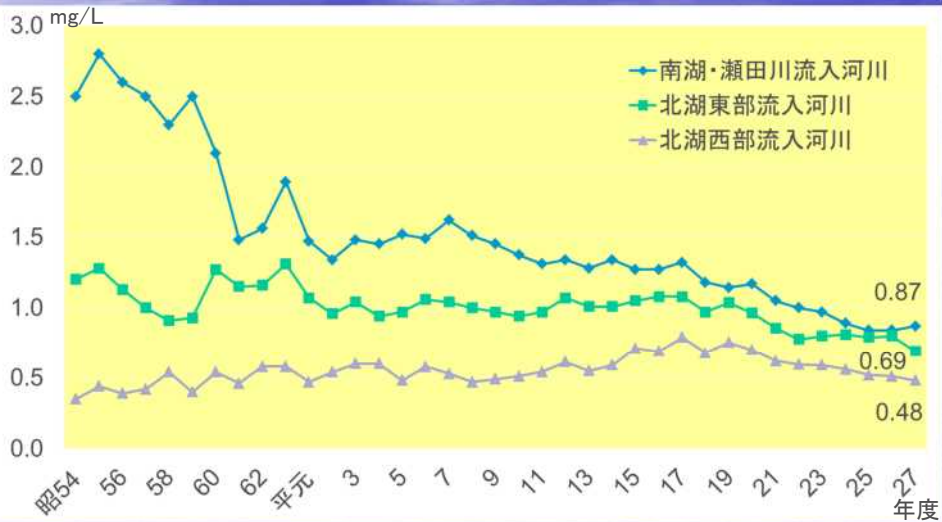
県内河川の水質の経年変化(BOD)



14

追加

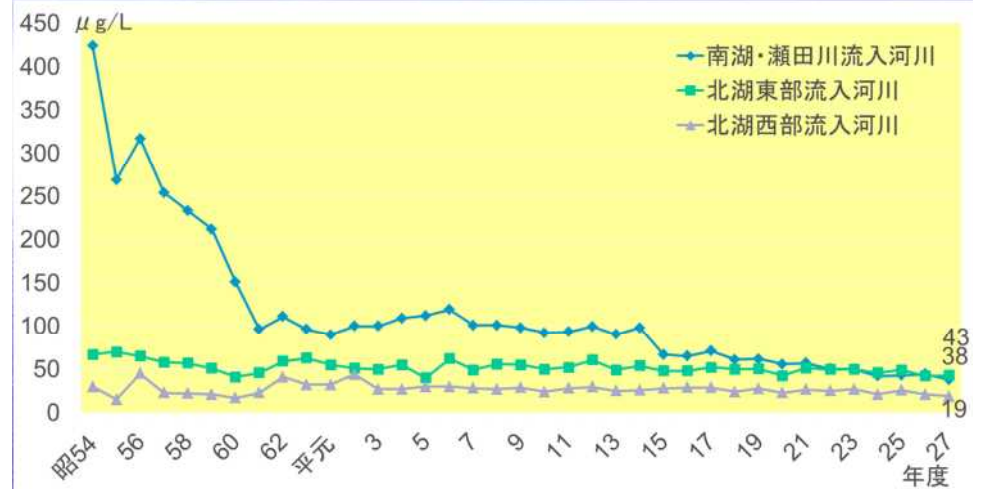
県内河川の水質の経年変化(全窒素T-N)



15

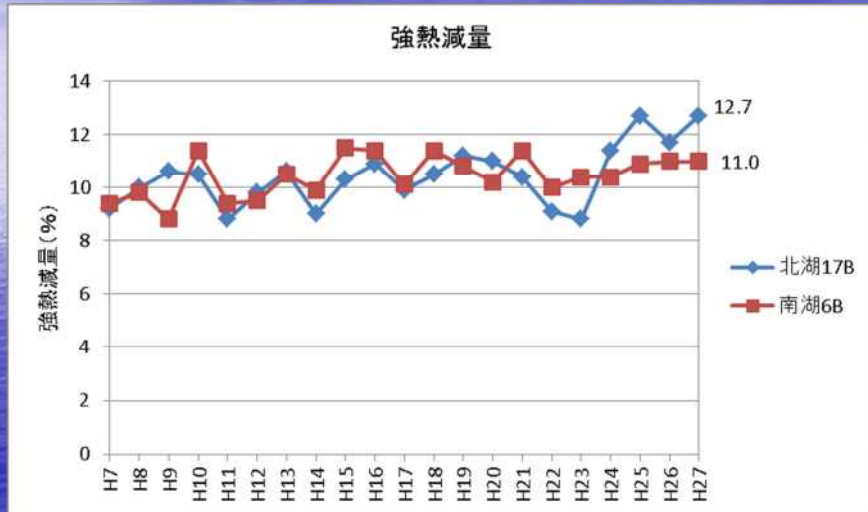
追加

県内河川の水質の経年変化(全リンT-P)



16

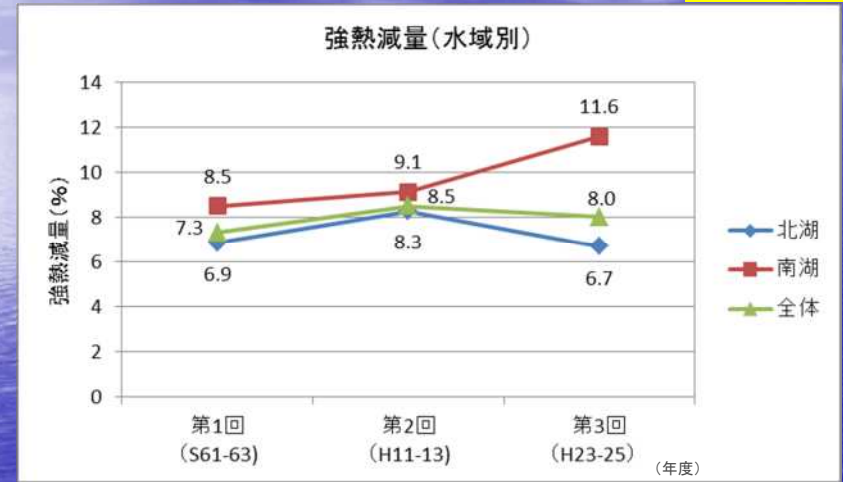
琵琶湖底質調査(定期調査)



17

琵琶湖底質調査(約10年毎調査)①

参考データ



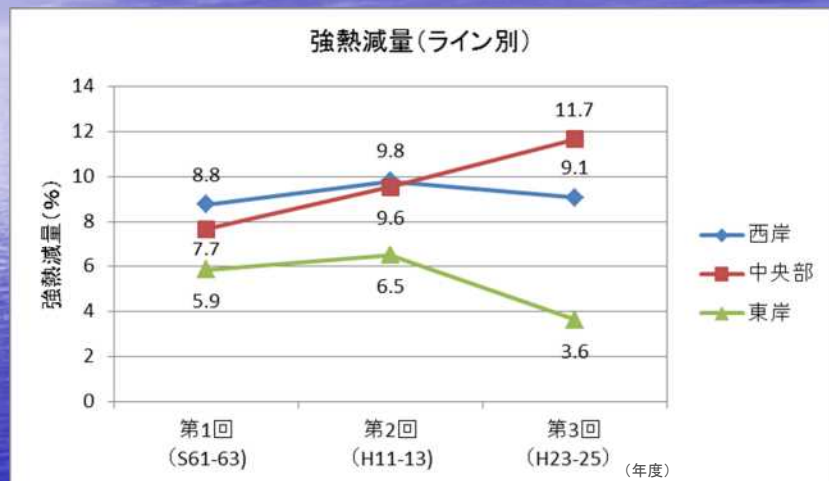
※強熱減量:

土壌を乾燥・強熱したときに減少する質量の比率を表したものであり、大部分は有機物である。値が大きいほど土壌に含まれる有機物量が多いと考えられるため、泥質状態を表す一つの目安となる。

18

琵琶湖底質調査(約10年毎調査)②

参考データ



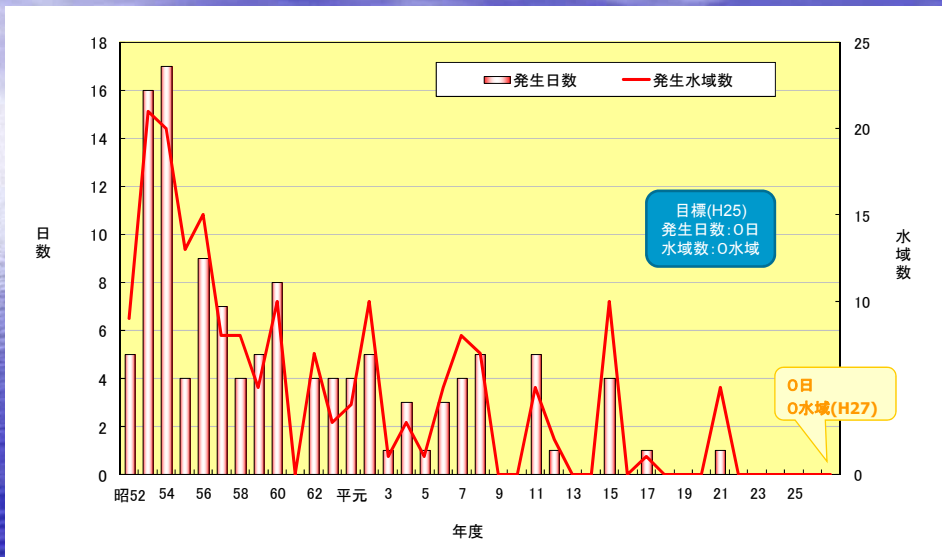
19

植物プランクトンの状況

- 赤潮は平成22年度より一度も発生していない。
- アオコは閉鎖性の高い水域で発生しており、平成27年度は南湖の4水域で5日間発生した。
- 窒素、リンなどの栄養塩類の状況から、富栄養化の進行は引き続き抑制されていると考えられる。

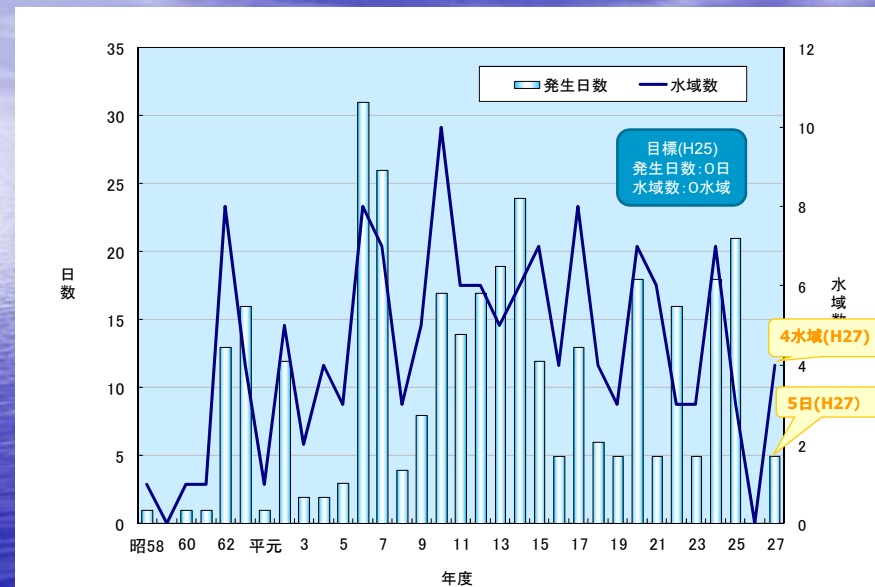
20

淡水赤潮の発生



21

アオコの発生



珪藻綱が優占する比率

追加



23

琵琶湖の漁業および魚介類・生き物の変化

- 琵琶湖の漁業においては、漁業者が減少しており、また高齢化が進行している。
- フナ、セタシジミ、ホンモロコなど琵琶湖の魚介類の漁獲量は、近年大きく減少している。
- 大增殖したオオクチバスやブルーギルなどの外来魚は、駆除やリリース禁止などの取組で推定生息量が減少傾向にある。
- カワウも駆除の取組の結果、この数年は減少傾向が見られる。

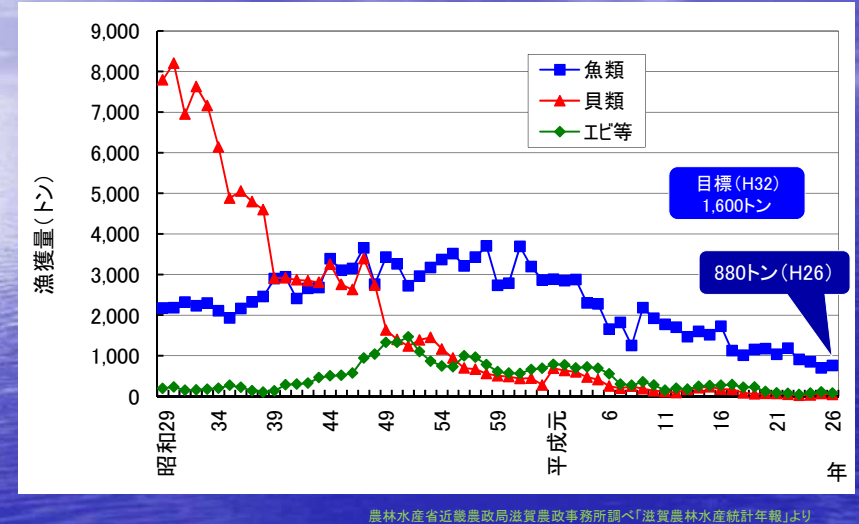
24

漁業就業者



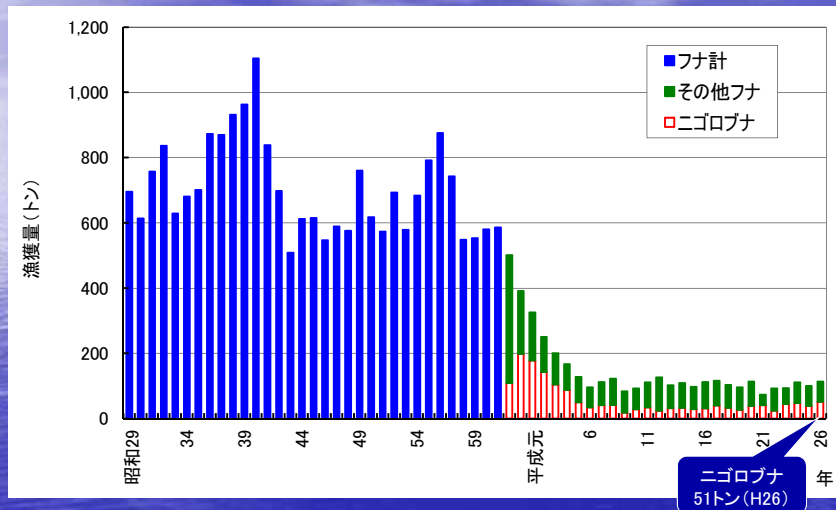
25

琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く)



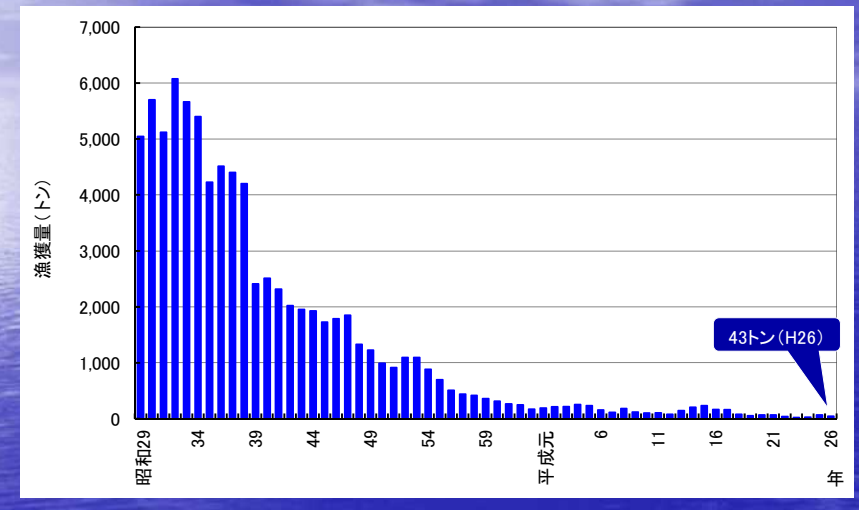
26

フナの漁獲量



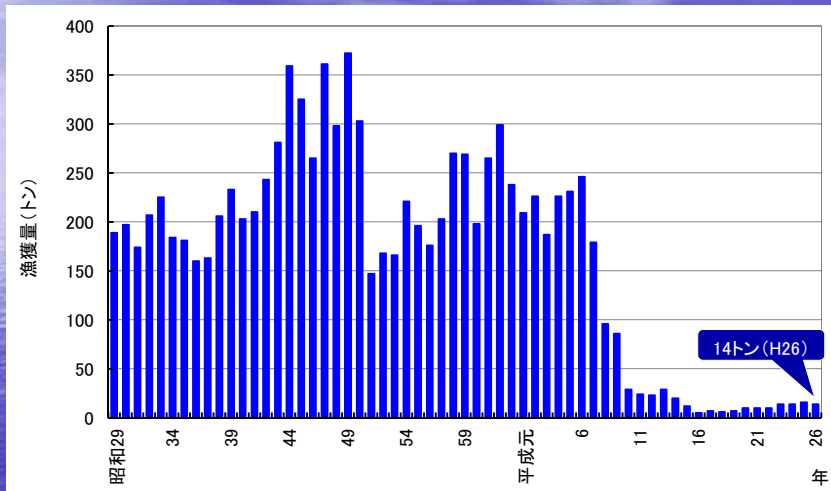
27

セタシジミの漁獲量



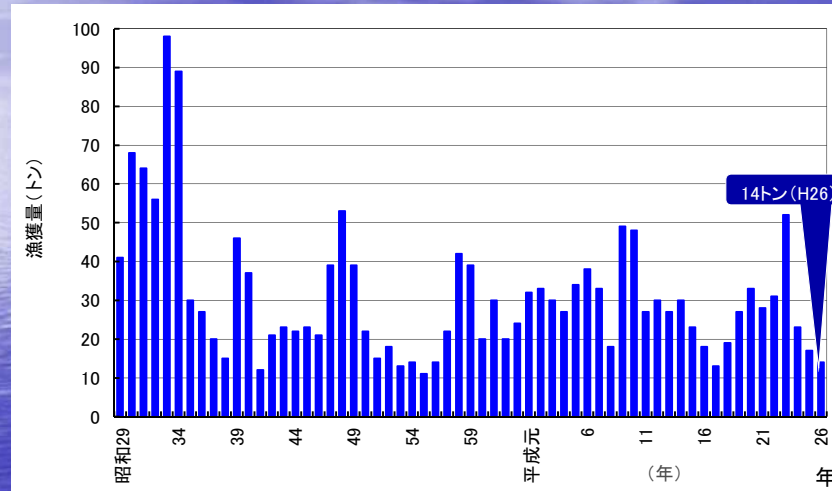
28

ホンモロコの漁獲量



農林水産省近畿農政局滋賀農政事務所調べ「滋賀農林水産統計年報」より

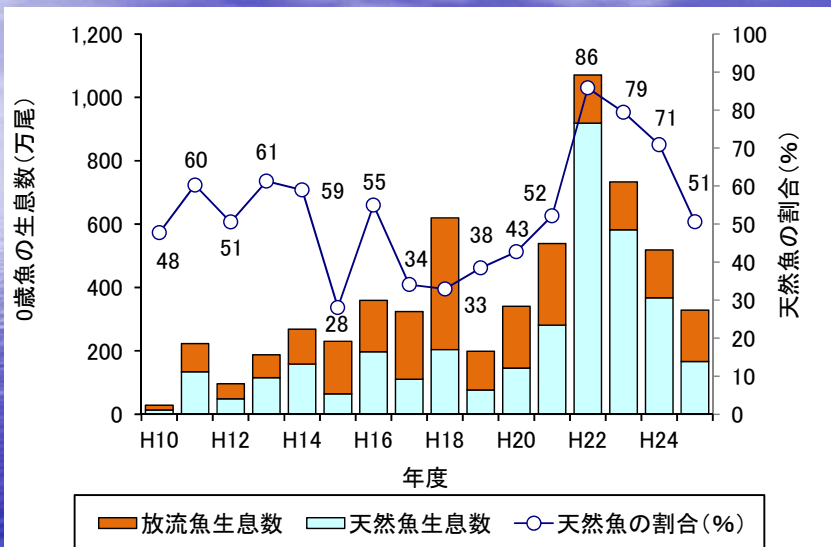
ビワマスの漁獲量



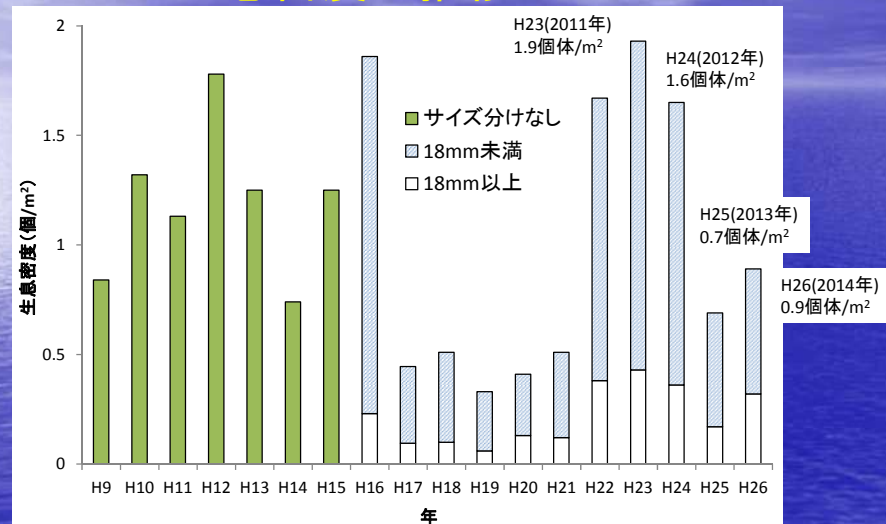
農林水産省近畿農政局滋賀農政事務所調べ「滋賀農林水産統計年報」より

ニゴロブナ当歳魚資源尾数

追加



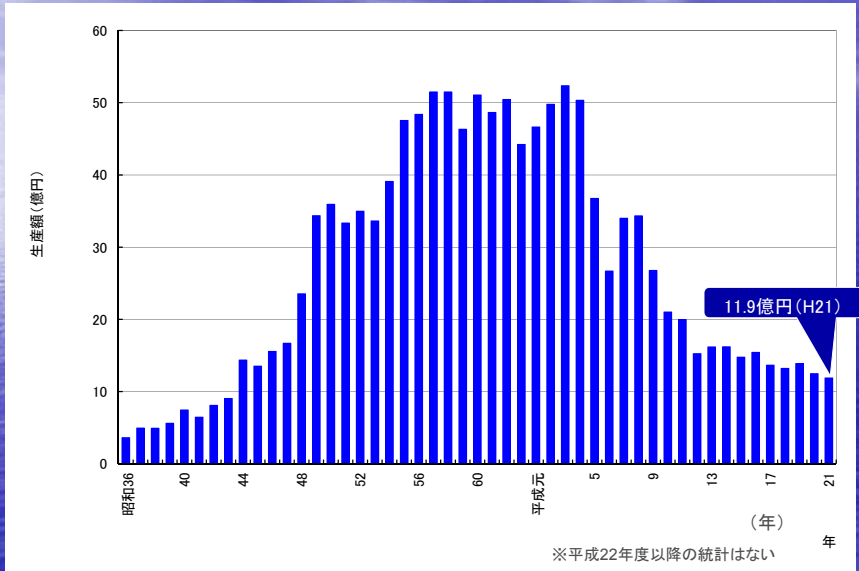
セタンジミの主要漁場における生息密度の推移 (主要7漁場)



出典: 平成26年度滋賀県水産試験場事業報告

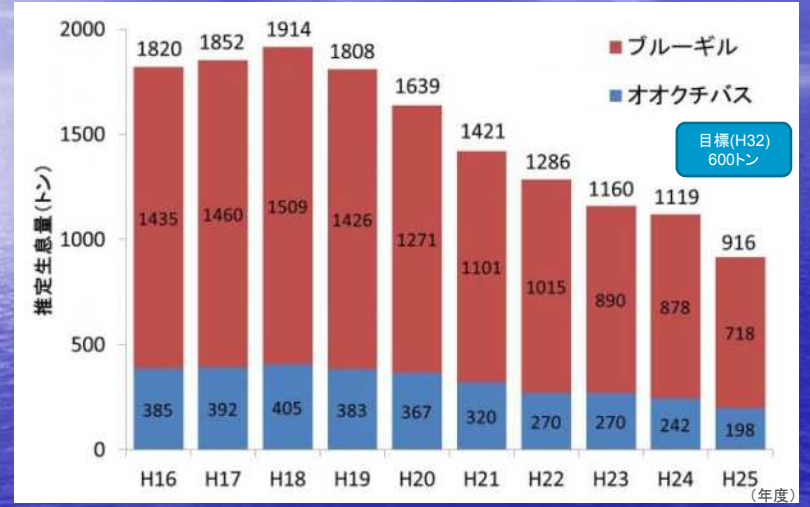
琵琶湖漁業の生産額

追加



農林水産省近畿農政局滋賀農政事務所調べ「滋賀農林水産統計年報」より

主な外来魚の推定生息量



コホート解析法により推定
 漁獲量、漁獲物の体長組成、操業日数、生息密度などのデータを用いて生息量を推定する方法で、生息量推定法として世界で最もよく使用されている方法。

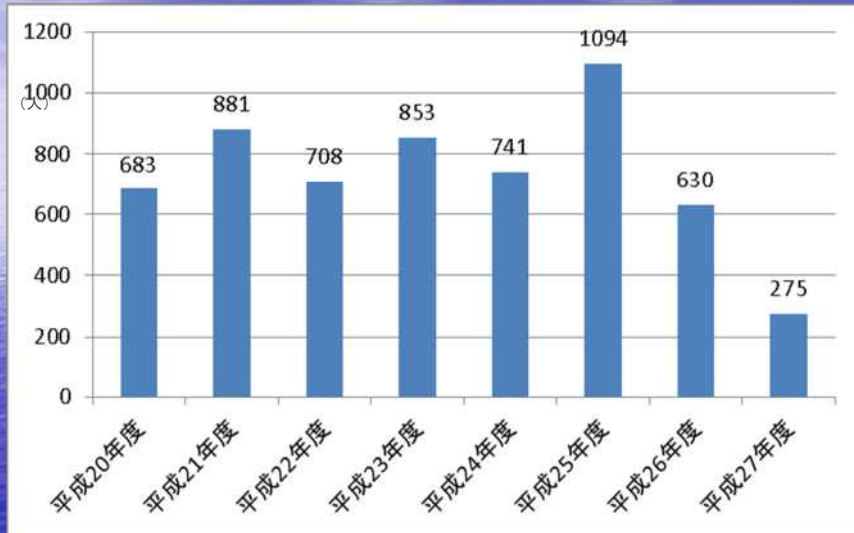
外来魚駆除量

追加



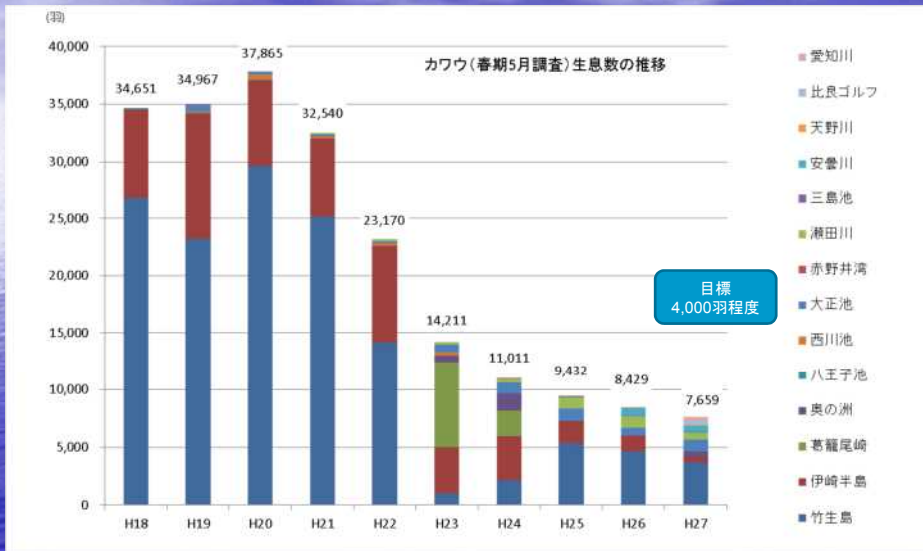
びわこルールキッズ参加者の推移

追加



琵琶湖のカワウ

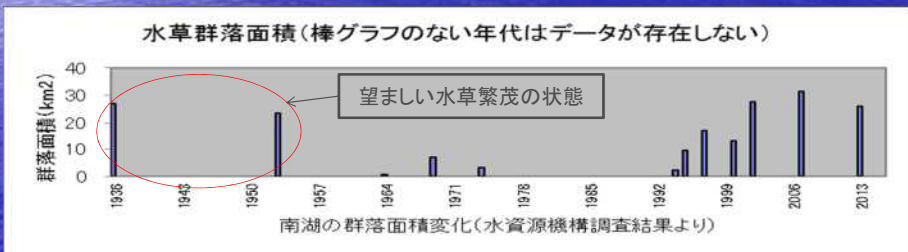
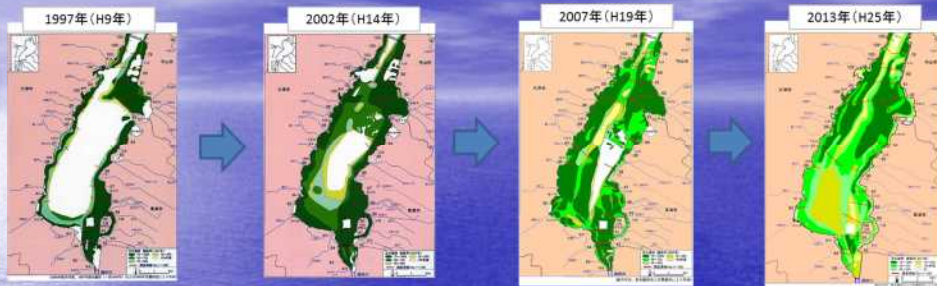
追加



琵琶湖の水草の状況

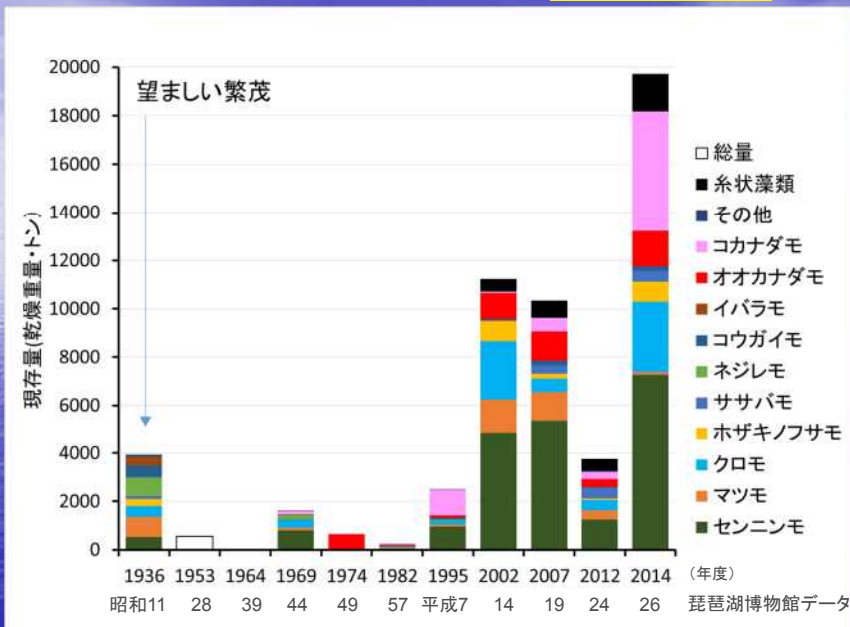
- 1990年代頃から特に南湖で水草が大量に繁茂し、湖の流れが停滞し、湖底の泥化が進むとともに、水質や底質の悪化を引き起こしている。
- 表層刈り取りおよび根こそぎ刈り取り、さらに人力刈り取りやワタカの放流など、様々な対策を行い、望ましい水草の状態に近づけようとしている。
- 刈り取った水草は、集めて堆肥化し、肥料として再利用している。
- これら対策等により、平成24年度には、現存量が約1/3にまで減少したが、平成26年度には、過去最大の現存量となった。

南湖における水草の繁茂状況



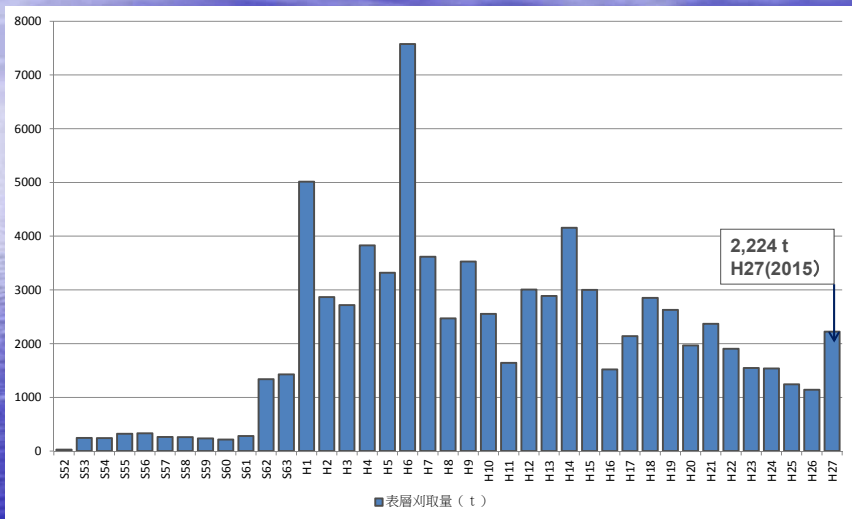
南湖の水草現存量 参考データ

追加



水草表層刈取量

追加



琵琶湖の湖岸の変化、内湖の減少、魚のゆりかご水田の取組

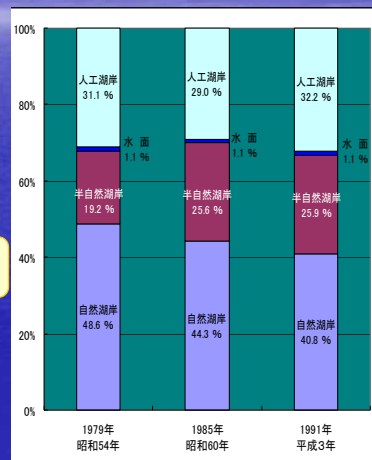
- 琵琶湖総合開発による湖岸堤の構築などにより、ヨシ群落等が埋め立てられ、自然湖岸が減少した。
- 生物多様性等において重要な内湖が減少。37あった自然内湖は23にまで減少した。
- コイ科魚類等の産卵の場である水田に遡上できるよう、「魚のゆりかご水田」への取組が増えた。

湖岸の変化



自然湖岸の減少

参考データ

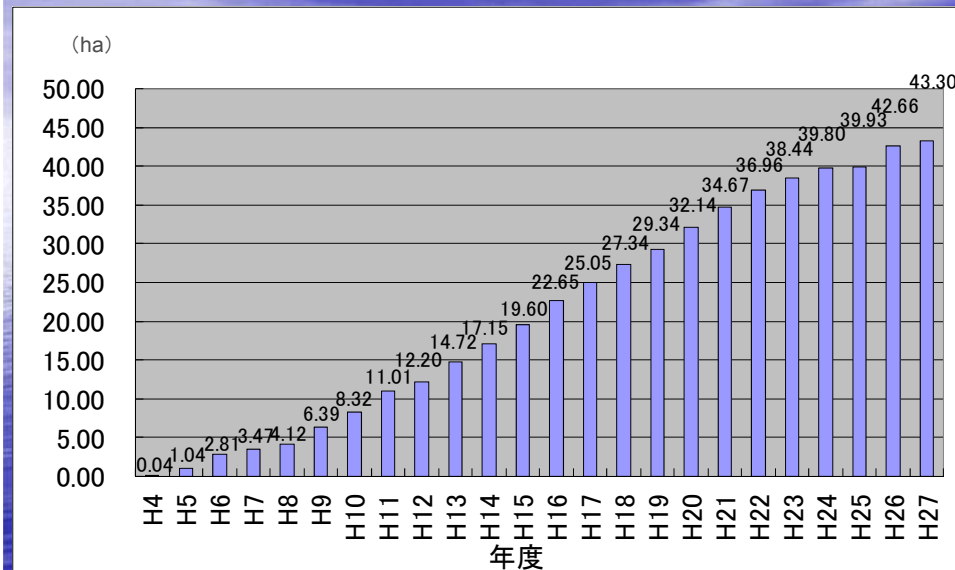


自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査） 環境省

ヨシ群落等の推移



ヨシの植栽面積 (累計)

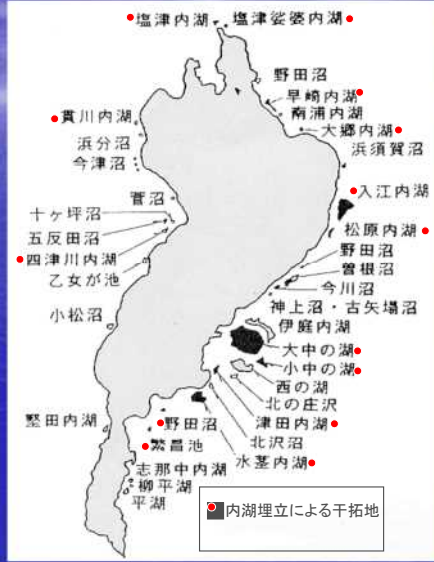
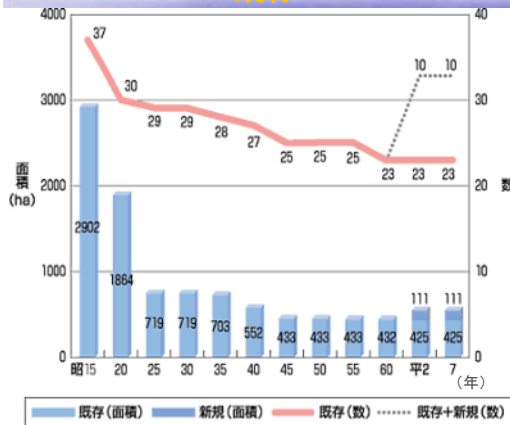


内湖の減少

参考データ

内湖の現状

既存: 23



出典: 滋賀県琵琶湖研究所「琵琶湖研究—集水域から湖水まで— 昭和63年」
および、琵琶湖干拓史編集委員会他「琵琶湖干拓史 昭和45年」より

出典: 滋賀県琵琶湖研究所「琵琶湖研究—集水域から湖水まで— 昭和63年」より
45

「魚のゆりかご水田」など豊かな生きものを育む水田取組面積

追加



※成果目標 しがの農業・水産業新戦略プラン (H23.3)
平成27年度 「魚のゆりかご水田」など豊かな生きものを育む水田取組面積 250ha

46

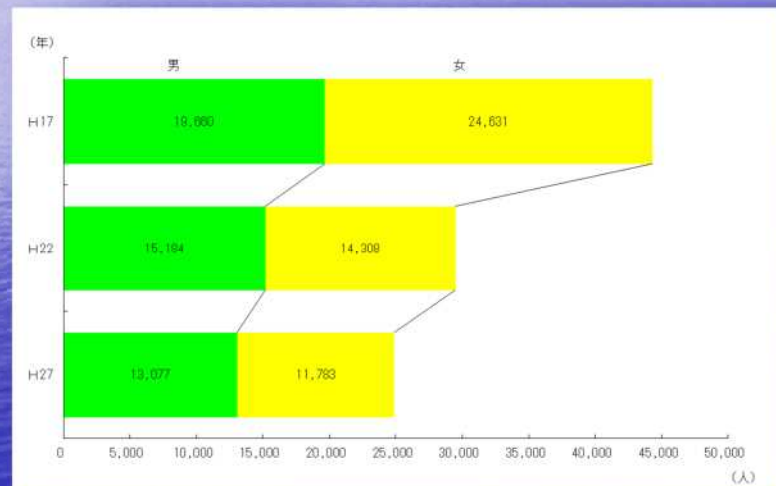
農業から見た状況

- 農業就業人口および耕地面積は年々減少している。
- それに反比例し、耕作放棄地は増加している。
- 農業産出額は減少傾向にある。
- 一方で、環境に配慮した農業に取り組む農家は増えており、環境こだわり農業による農産物栽培面積は増え、化学合成農薬使用量は減少している。
- 「おいしが、うれしがキャンペーン」に取り組む店舗数は増加している。

47

農業就業人口(販売農家)

追加



48

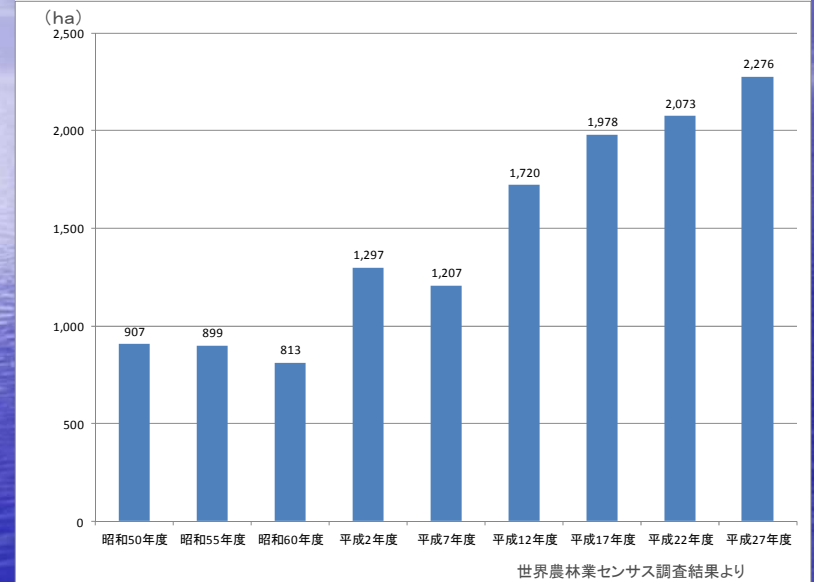
耕地面積

追加



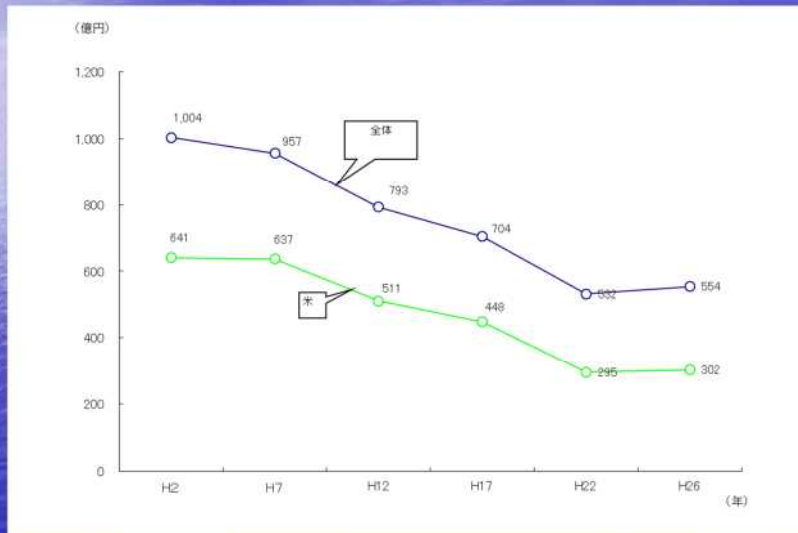
耕作放棄地面積

追加

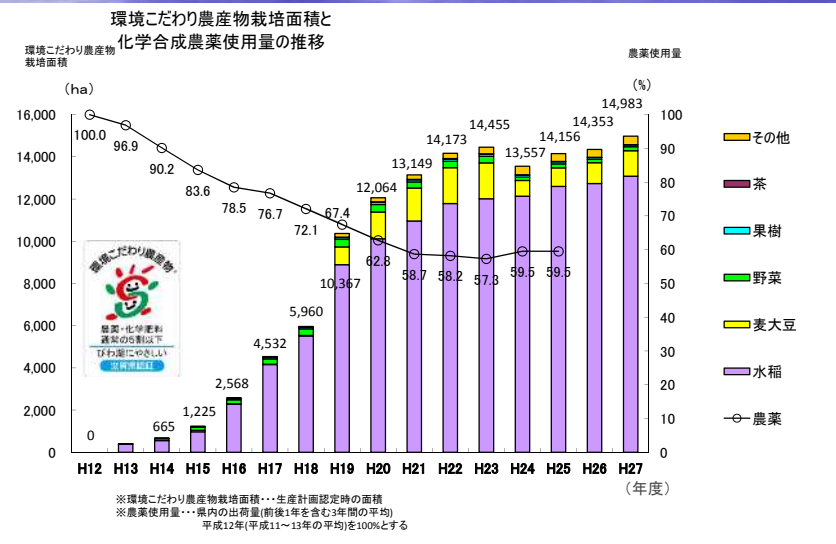


農業産出額

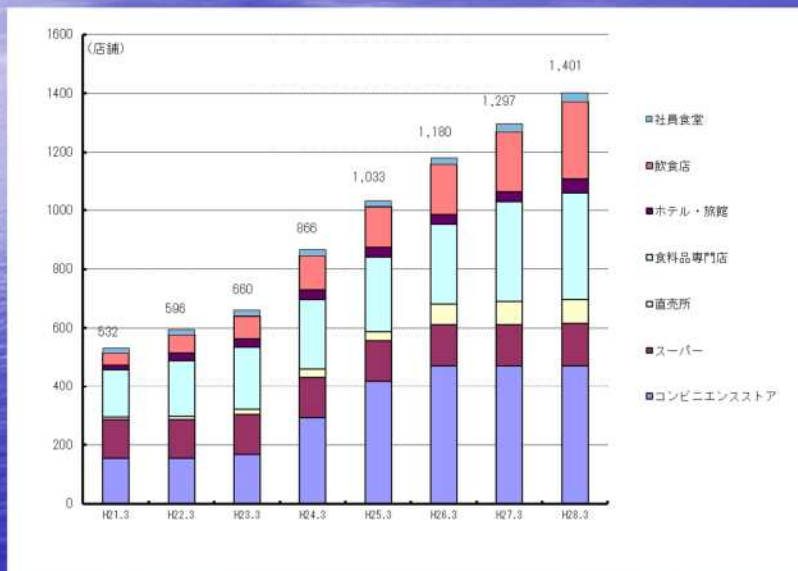
追加



環境こだわり農産物栽培面積と化学合成農薬使用量の推移



「おいしが・うれしがキャンペーン」 推進店の推移



53

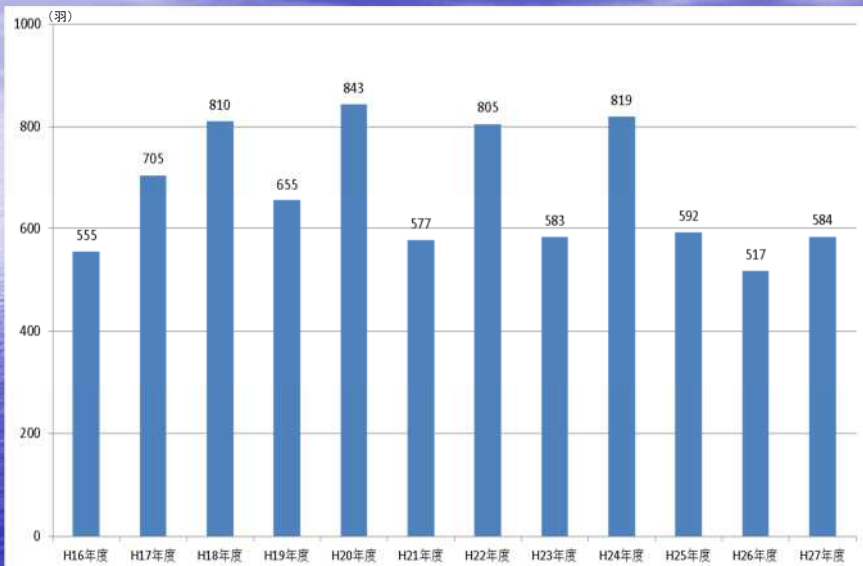
生物多様性の状況

- カイツブリの生息数に大きな変化はあまりない。
- 守山市赤野井湾のエリアで調査されたホタル飛翔地域数において、ホタルの飛ぶ地域数は増加傾向にあり、同地域におけるホタルの生息できる環境は保全されている。
- オオバナミズキンバイ等の外来水生植物については各種対策により駆除に取り組んでいるが、生育面積が拡大している。

54

カイツブリ生息数の推移

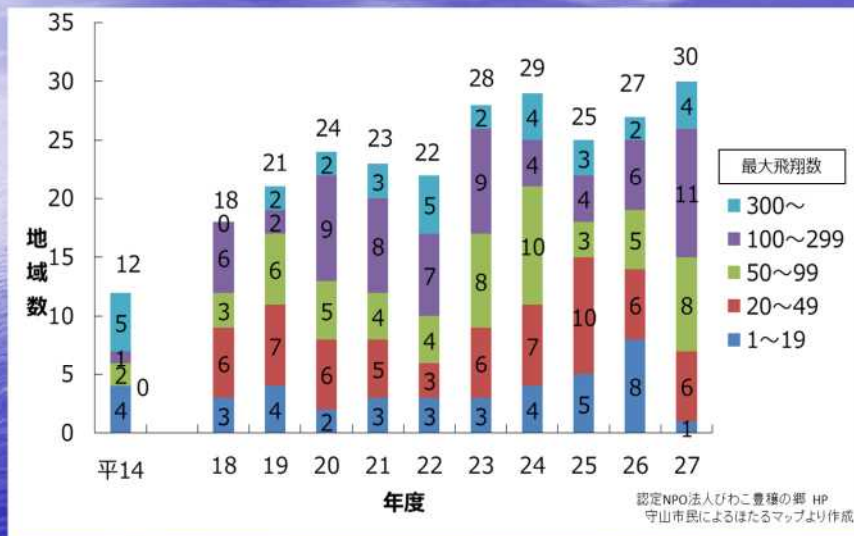
追加



55

ホタル飛翔地域数 (守山市赤野井湾)

追加



認定NPO法人びわこ豊種の郷 HP
守山市民によるほたるマップより作成

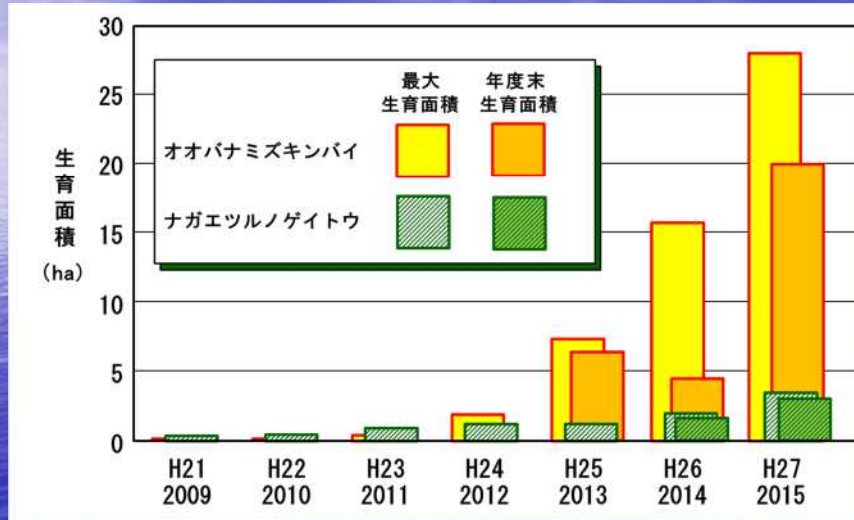
27

56

侵略的外来水生植物2種の生育面積の経年変化(平成21~27年度)

追加

参考データ

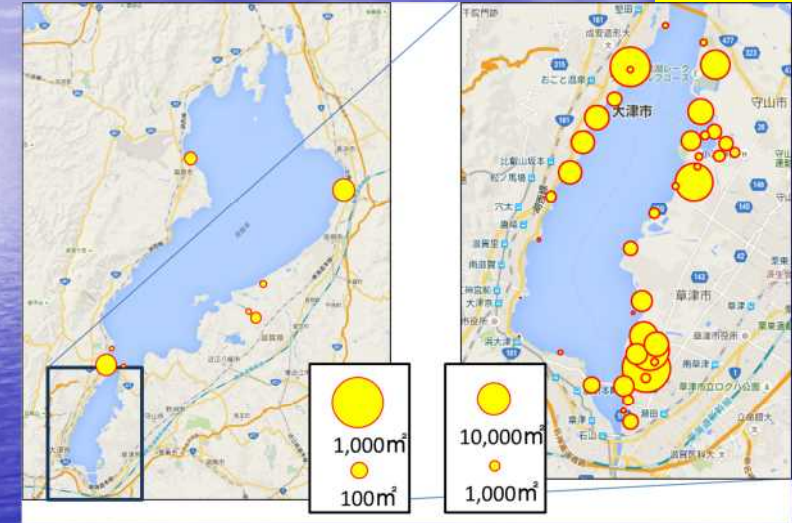


57

オオバナミズキンバイの生育状況(平成27年度の最大生育面積)

追加

参考データ



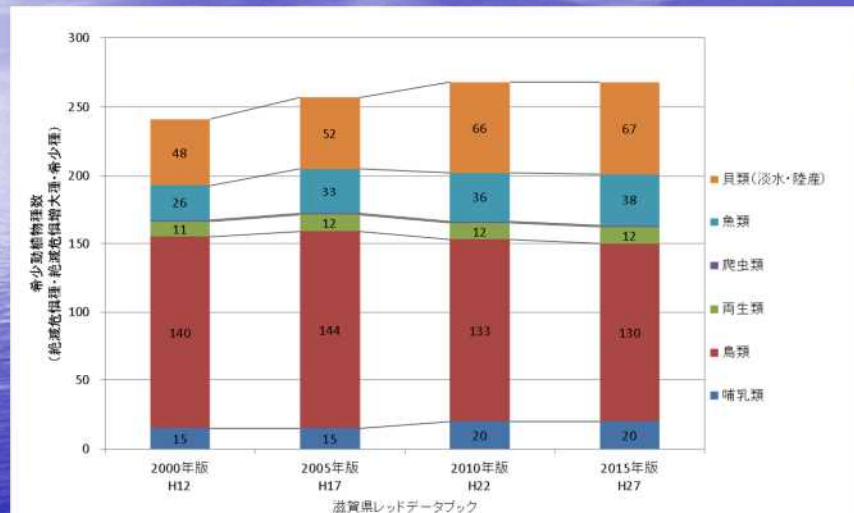
北湖周辺(湖岸、内湖)での分布
範囲の拡大(面積は小規模)

南湖周辺(湖岸、内湖、河川下
流域)での生育面積の拡大

58

希少野生生物種(脊椎動物種・貝類)

追加



59

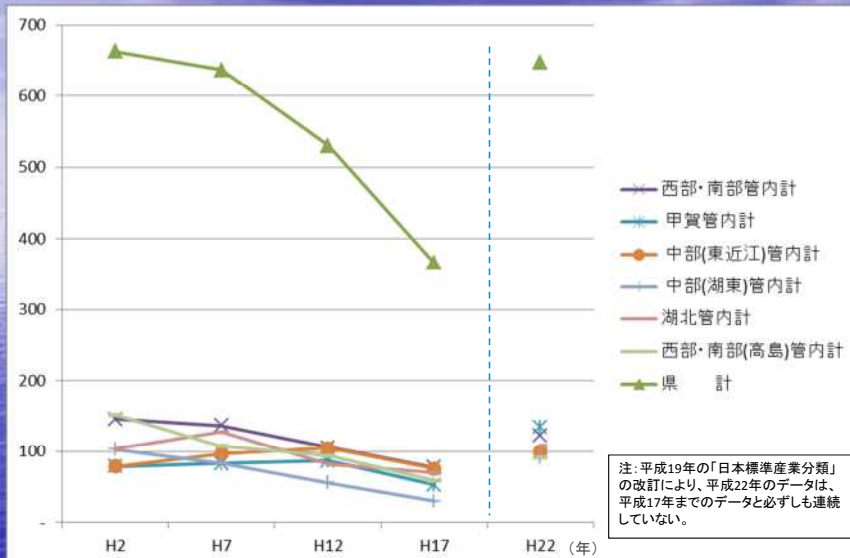
森林・林業の状況

- 琵琶湖の水源地として重要な森林の保全において、間伐を行うとともに、利用間伐を進めている。
- 森林を市民団体や集落ぐるみ、また企業とパートナー協定を締結したり、里山整備協定を締結するなど、個人ではなく団体として保全していく形態が増加している。
- 次世代への教育の一環として、森林環境学習を行っており、年間受講者数は琵琶湖森林づくり基本計画の平成25年度に平成26年度の目標値20,000人を達成した。

60

林業就業者数

追加

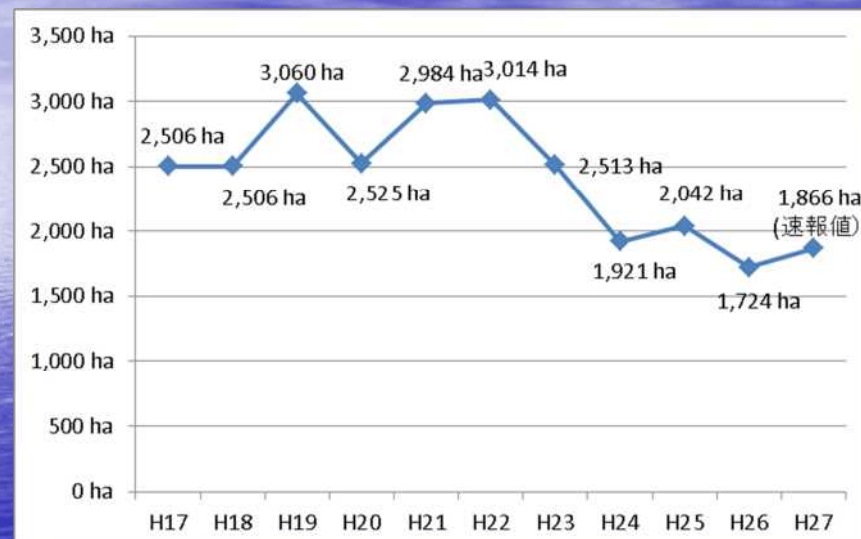


国勢調査(H22.10.1)より

61

年間間伐実施面積

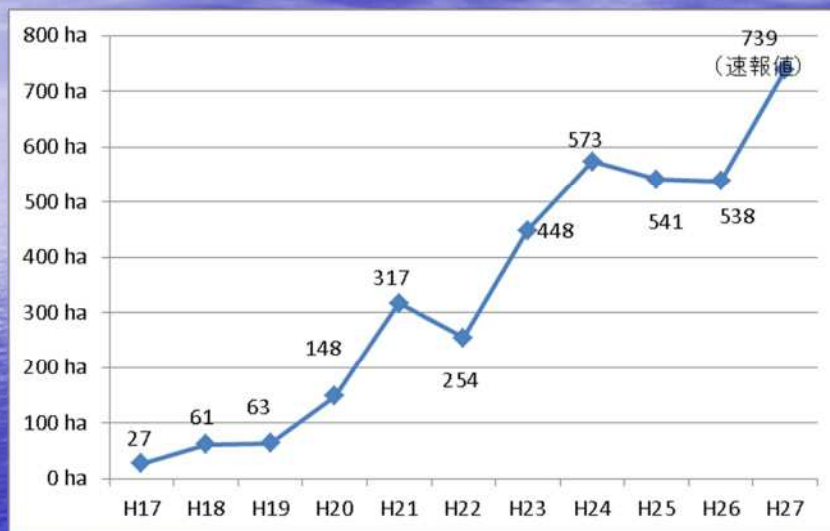
追加



62

利用間伐面積

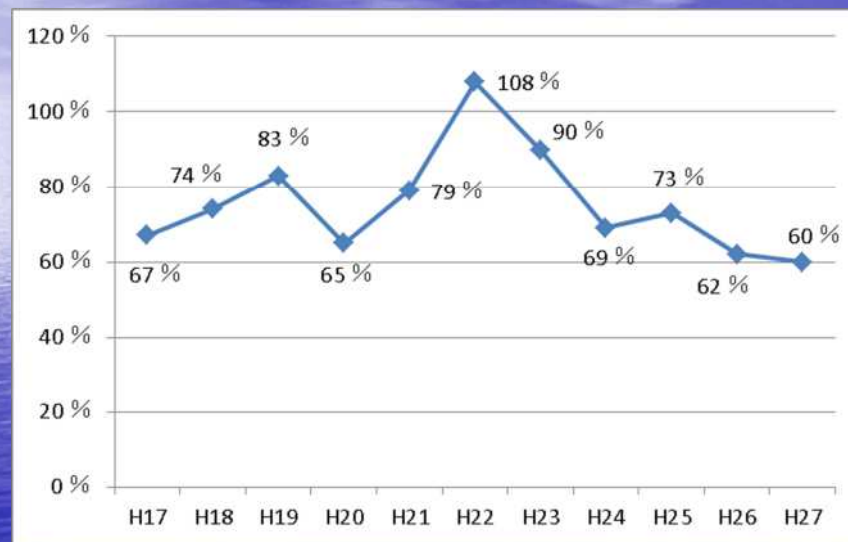
追加



63

除間伐を必要とする人工林に対する整備割合

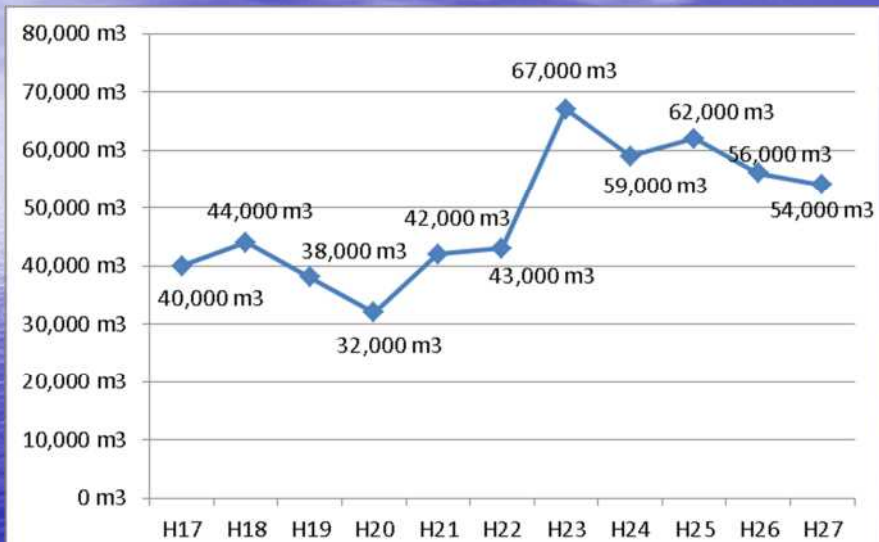
追加



64

県産材の素材生産量

追加



農林水産省 木材統計調査より

65

林業産出額

追加

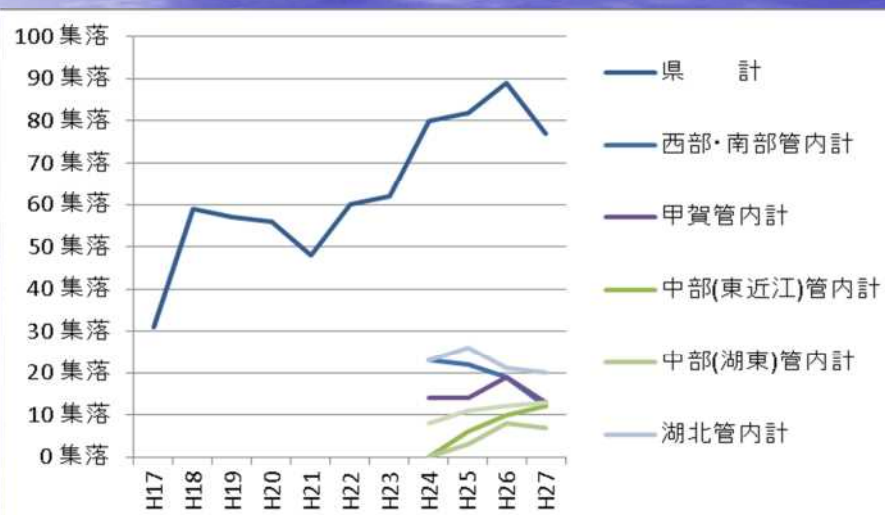


農林水産省 生産林業所得統計より

66

地域の森林づくりを推進する集落数

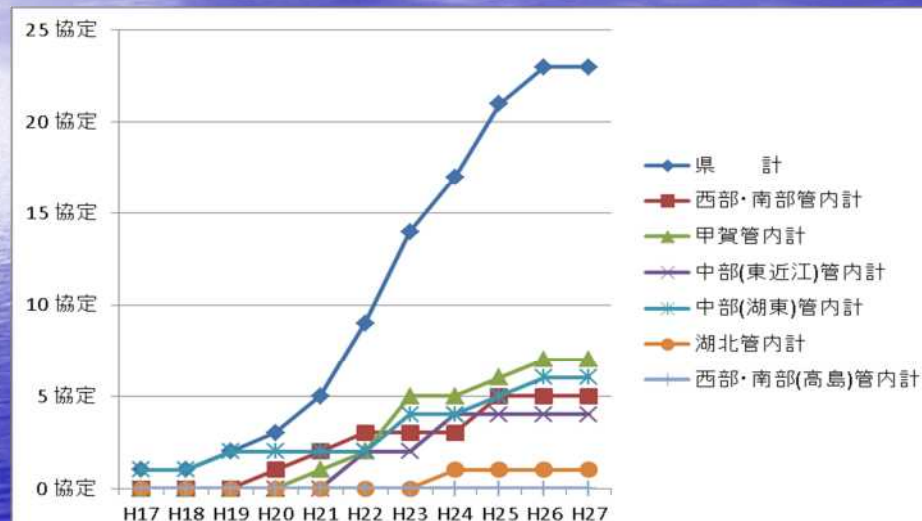
追加



67

琵琶湖森林づくりパートナー協定 (企業の森) 締結数

追加



68

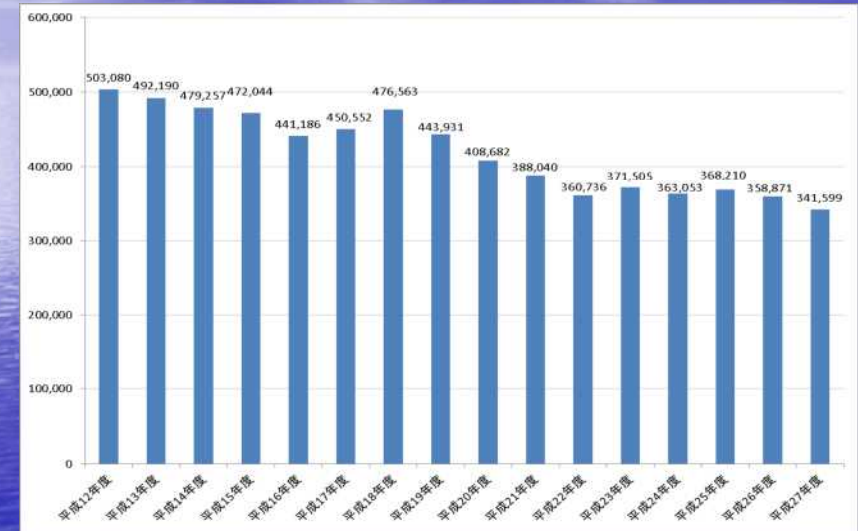
その他

- 琵琶湖博物館の年間来館者は減少傾向にあるが、平成8年の開館から20年周年を迎え、平成28年7月にリニューアルオープンした。
- 県民一人が一日に出すゴミの量は、年々減少している。全国の数値と比べ、滋賀県民が出すゴミの量は少なく、環境意識が高い点が伺われる。
- 水位、気象等の参考データを追加している

69

追加

琵琶湖博物館年間来館者の推移



70

県民1人が1日に出すゴミの量

追加



71

環境に配慮した瀬田川洗堰試行操作 実施前後での琵琶湖水位の比較

追加

参考データ

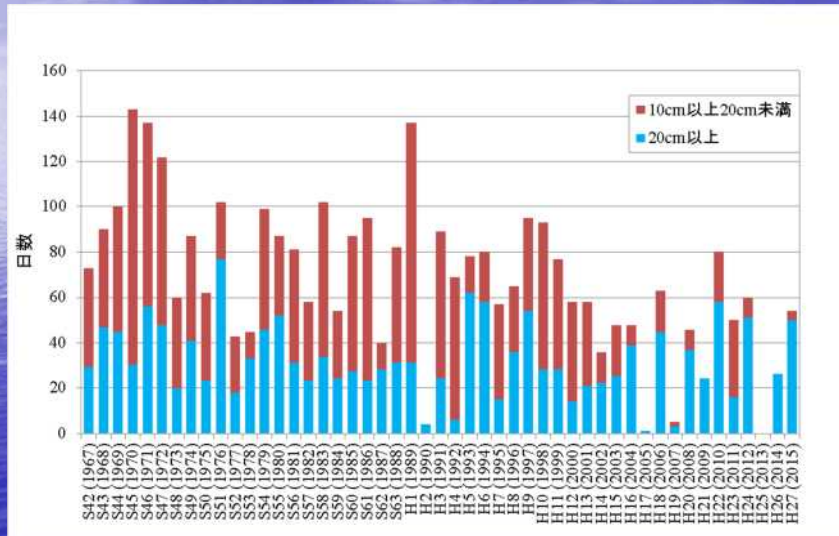


72

3～7月においてB.S.L.10cm以上になる日数

追加

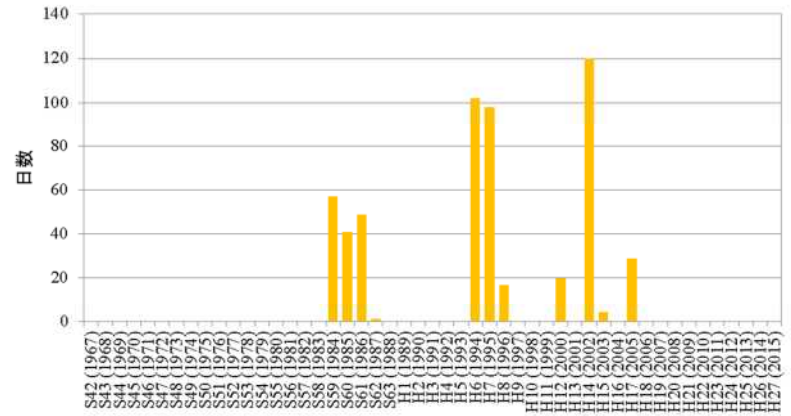
参考データ



年間においてB.S.L.-70cm以下になる日数

追加

参考データ

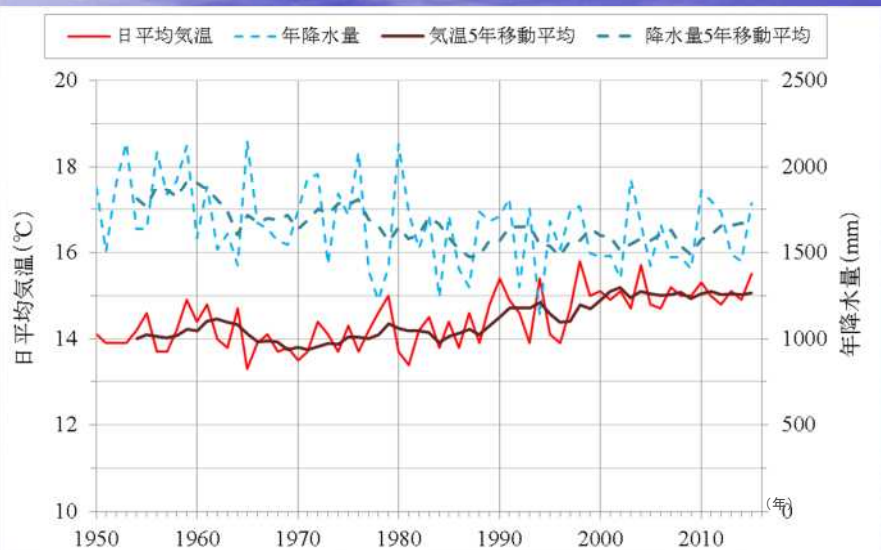


※年をまたがってB.S.L.-70cm以下となることが続いていることもある
(例:H6.11.15からH7.1.23まで250日間連続)

平均気温・年降水量(S25年～)

追加

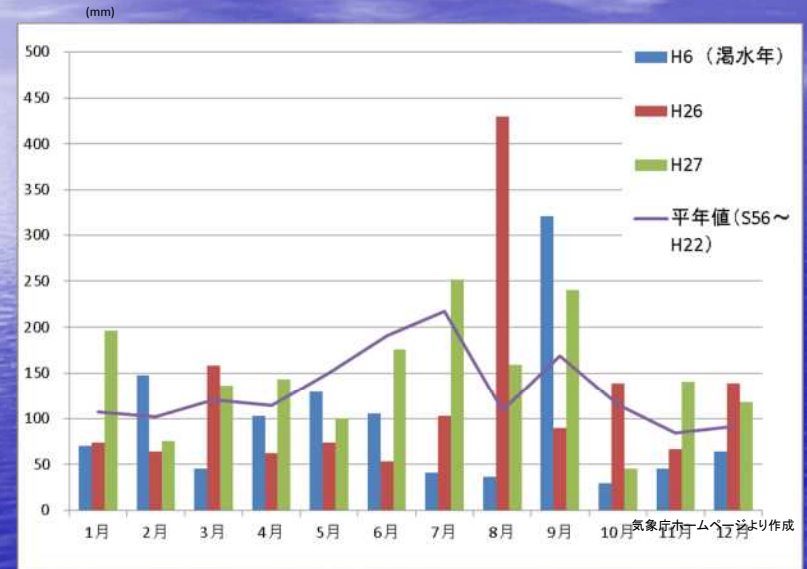
参考データ



月別降水量(彦根)

追加

参考データ

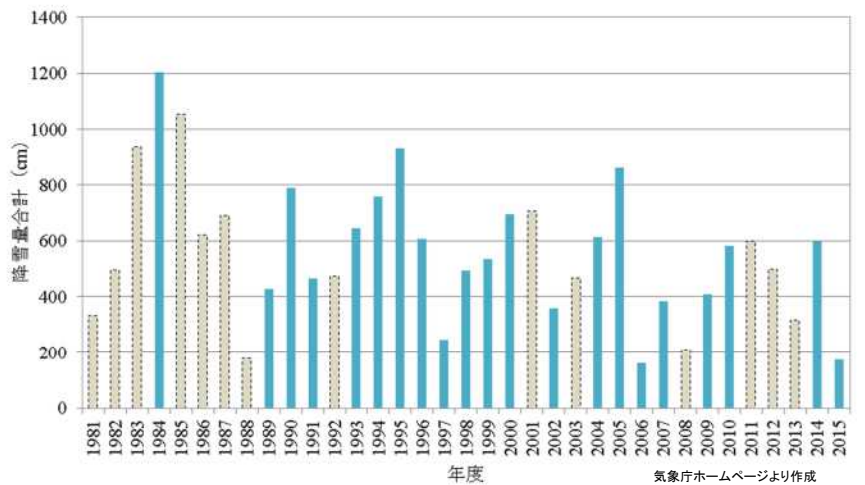


気象庁ホームページより作成

年別降雪量合計(柳ヶ瀬)

新規追加

参考データ



※欠測等を含むデータについては点線で表示

気象庁ホームページより作成